目次

メニュー

索引

SONY®

詳細操作ガイド

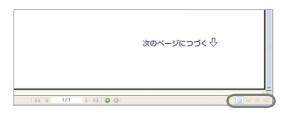
NW-S636F / S638F / S639F / S736F / S738F / S739F / S636FK / S638FK

4-110-116-**02** (1)

目次
メニュー
索引

詳細操作ガイドの見かた

詳細操作ガイドのボタンを使うには

右上にあるボタンから、希望のボタンをクリックすれば、「目次」や「ホームメニュー一覧」、「索引」へ移動できます。

ヒント

- 「目次」や「ホームメニュー一覧」、「索引」で、各項目またはページ番号をクリックすれば、該当ページへ移動できます。
- 各ページにある参照ページ表示をクリックすれば、該当ページへ移動できます。
  例：（☞ 4ページ）
- Adobe Readerの「編集」から「検索」を選択し、表示された検索画面にキーワードを入力すれば、キーワードから参照ページを検索できます。
- ページ移動後は、Adobe Readerの画面下にある、◎ や ◎ ボタンをクリックすれば、移動する前のページや次のページへ移動できます。
- お使いのAdobe Readerのバージョンによっては、操作方法などが異なる場合があります。

次のページにつづく ⇩

ページの表示方法を変えるには

Adobe Readerの画面下にあるボタンを使えば、見やすい表示に変えられます。

単一ページ

1ページずつ表示します。
ページをスクロールすると、1ページずつ表示が切り換わります。

連続ページ

ページを続けて表示します。
ページをスクロールすると、前後のページが続いて表示されます。

連続見開きページ

2ページずつ見開き表示します。
ページをスクロールすると、前後のページが続いて表示されます。

見開きページ

2ページずつ見開き表示します。
ページをスクロールすると、2ページずつ表示が切り換わります。

目次

操作の基本と画面

準備する

音楽を聞く

ビデオを見る

次のページにつづく ⇩

ポッドキャストを再生する

写真を見る

FMラジオ放送を聞く

録音する

本機の設定をする

次のページにつづく

目次
メニュー
索引

役に立つヒント

困ったときは

その他

目次
メニュー
索引

各部の名前

1 BACK/HOME ボタン*[1]

リスト画面の階層を上がったり、前の画面に戻ります。
押したままにすると、ホームメニューが表示されます（☞ 12ページ）。

2 5方向ボタン*[2]

再生を始めたり、項目を選んだりできます（☞ 12、14ページ）。

3 ヘッドホンジャック*[3]

ヘッドホンを接続します。「カチッ」と音がするまで差し込みます。
ヘッドホンが正しく接続されていないと、音が正常に聞こえません。

ノイズキャンセリング機能について
（NW-S736F/S738F/S739Fのみ）

ノイズキャンセリング機能は付属のヘッドホンを使用したときのみ有効です。なお、付属のヘッドホンは専用ヘッドホンのため、他の機器には使用することができません。

4 WM-PORTジャック

付属のUSBケーブルや、別売りのWM-PORT対応のアクセサリーを接続できます。本機での録音に対応した別売りアクセサリーも接続できます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

5 NOISE CANCELINGスイッチ（NW-S736F/S738F/S739Fのみ）

NOISE CANCELINGスイッチを矢印の方向▶にスライドすると、ノイズキャンセリング機能が有効になります（☞ 98ページ）。

6 画面

使う機能により画面表示は異なります。
（☞ 10、12、24、55、67、71、80、86ページ）

7 VOL＋*2/－ボタン

音量を調節します。

8 HOLDスイッチ

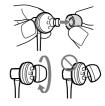
誤ってボタンが押されて動作するのを防ぎます。
HOLDスイッチを矢印の方向▶にスライドすると、操作ボタンが働かなくなります。HOLDスイッチを逆の位置にスライドすると、HOLDが解除されます。

9 OPTION/PWR OFFボタン*1

オプションメニューを表示します（☞ 38、60、69、75、85、96ページ）。
押したままにすると画面表示が消え再生待機状態になります。このときいずれかのボタンを押すと、元の状態に戻り再生画面などが表示されます。
再生待機状態のまま最長で1日経過すると、自動的に電源が切れます。このときいずれかのボタンを押すと、起動画面のあとに再生画面が表示されます。

ご注意

- 再生待機状態でもわずかに電池を消耗するため、電池残量によっては早く電源が切れる場合があります。

10 RESETボタン

クリップなどの細い棒でRESETボタンを押すと、本機をリセットできます（☞ 120ページ）。

*1 本機上の ⬬HOME、⬬PWR OFFはそれぞれボタンを押したままにすると使える機能です。
*2 ボタンには、凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
*3 ヘッドホンジャックの穴の形状はお使いの機種によって異なります。

目次
メニュー
索引

イヤーピースの正しい装着方法

イヤーピースが耳にフィットしていないと、低音が聞こえなかったり、ノイズキャンセリング機能（☞ 98ページ）の効果が得られなかったりします。より良い音質を楽しんでいただくためには、イヤーピースのサイズを交換したり、おさまりの良い位置に調整するなど、ぴったり耳に装着させるようにしてください。

お買い上げ時には、Mサイズが装着されています。サイズが耳に合わないと感じたときは、付属のLサイズやSサイズに交換してください。イヤーピースがはずれて耳に残らないよう、イヤーピースを交換する際には、ヘッドホンにしっかり取り付けてください。取り付けを確実にするためにイヤーピースを回転してください。

イヤーピースが破損した場合には、別売りのイヤーピース（EP-EX1）をご購入ください。

目次
メニュー
索引

ホームメニュー一覧

本機のホームメニューの項目と、そのメニュー項目一覧（☞ 11ページ）です。
各メニューについては参照ページをご覧ください。

画面表示は本機の壁紙設定（☞ 106ページ）やテーマ設定（☞ 105ページ）によって異なります。本書は上記の画面の設定を例として説明しています。

	おまかせチャンネル	曲調を解析して自動分類したチャンネル単位で、曲を再生します（☞ 32ページ）。
FM	FMラジオ	FMラジオ放送を受信します（☞ 80ページ）。
	録音	曲を録音したり、録音した曲を再生します（☞ 86ページ）。
	フォトライブラリ	本機に転送した写真を表示します（☞ 71ページ）。
	ミュージックライブラリ	本機に転送した曲を再生します（☞ 24ページ）。
	ビデオライブラリ	本機に転送したビデオを再生します（☞ 55ページ）。
	各種設定	各機能の設定や、本機の設定を行います（☞ 44、61、76、84、97、103ページ）。
	ポッドキャストライブラリ	本機に転送したポッドキャストを再生します（☞ 67ページ）。
	再生画面へ *1	再生画面を表示します。

*1 FMラジオの受信中や録音停止中にホームメニューを表示した場合は、「FMラジオ画面へ」または「録音画面へ」と表示されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

*[1] NW-S736F/S738F/S739Fのみ

目次
メニュー
索引

ホームメニューの使いかた

本機では、ホームメニューが各機能の入り口になり、曲を探したり、設定の変更をしたりできます。
BACK/HOMEボタンを押したままにすると、ホームメニューが表示されます。

ホームメニューからは、5方向ボタンの▲/▼/◀/▶ボタンを使って、希望の項目を選択、決定していきます。

- ▲/▼/◀/▶：上下左右で選択
- ▶II：決定

ホームメニューからの操作を、本書では以下のように記載しています。

例　ホームメニュー➡♫（ミュージックライブラリ）➡「アルバム」➡希望のアルバム➡希望の曲を選ぶ。

上記の例の具体的な操作は、以下のようになります。

1 ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押したままにする。

ホームメニューが表示されます。

目次
メニュー
索引

❷ **▲/▼/◀/▶ボタンで♫(ミュージックライブラリ)を選び、▶IIボタンを押して決定する。**

ミュージックライブラリ画面が表示されます。

❸ **▲/▼/◀/▶ボタンで「アルバム」を選び、▶IIボタンを押して決定する。**

アルバム一覧画面が表示されます。

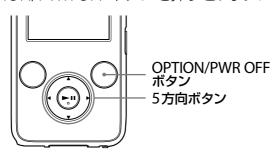
❹ **▲/▼/◀/▶ボタンで希望のアルバムを選び、▶IIボタンを押して決定する。**

曲一覧画面が表示されます。

❺ **▲/▼/◀/▶ボタンで希望の曲を選び、▶IIボタンを押して決定する。**

曲の再生が始まります。

操作の途中でホームメニューを表示するには

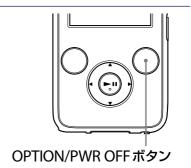
BACK/HOMEボタンを押したままにする。

操作の途中でひとつ前の画面に戻るには

BACK/HOMEボタンを押す。

目次
メニュー
索引

オプションメニューの使いかた

オプションメニューでは、機能に応じたメニューが表示され、設定の変更などができます。
OPTION/PWR OFFボタンを押すと、オプションメニューが表示されます。

オプションメニューからは、5方向ボタンの▲/▼/◀/▶ボタンを使って、希望の項目を選択、決定していきます。

- ▲/▼/◀/▶：上下左右で選択
- ▶II：決定

オプションメニューで「プレイモード」の「シャッフル」再生を選ぶ操作は、以下のようになります。

1 音楽再生画面でOPTION/PWR OFFボタンを押す。

オプションメニューが表示されます。

目次
メニュー
索引

❷ **▲/▼/◀/▶ボタンで「プレイモード」を選び、▶II ボタンを押して決定する。**

❸ **▲/▼/◀/▶ボタンで「シャッフル」を選び、▶II ボタンを押して決定する。**

プレイモードがシャッフル再生に変わります。

オプションメニューの項目は表示した画面によって異なります。詳しくは、以下をご覧ください。

- 「音楽のオプションメニューを使う」(☞ 38ページ)
- 「ビデオのオプションメニューを使う」(☞ 60ページ)
- 「ポッドキャストのオプションメニューを使う」(☞ 69ページ)
- 「フォトのオプションメニューを使う」(☞ 75ページ)
- 「FMラジオ放送のオプションメニューを使う」(☞ 85ページ)
- 「録音のオプションメニューを使う」(☞ 96ページ)

目次
メニュー
索引

付属のソフトウェアについて

SonicStage

SonicStageは、パソコンから本機へ音楽を転送するソフトウェアです。
音楽CDから取り込んだ曲や、音楽配信サイトからダウンロードした曲を、管理、編集して本機に転送できます。
音楽を高音質で保存し、高音質のまま本機に転送したり、アルバムのジャケット写真の転送や、プレイリストの転送にも対応しています。
SonicStageの操作について詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。

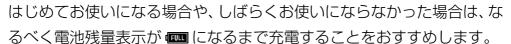
ヒント

- 2008年10月以降提供予定のSonicStage Vをご使用になると、本機でのおまかせチャンネル再生用に曲解析を行ったうえで音楽を転送することができます。

Media Manager for WALKMAN

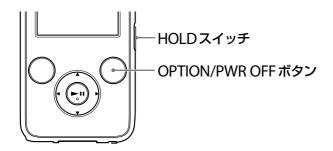
Media Manager for WALKMANは、パソコンから本機へビデオコンテンツや写真を転送するソフトウェアです。
インターネットの動画配信サイトで配信されたビデオコンテンツや、デジタルスチルカメラで撮影した写真、ポッドキャスト（RSSコンテンツ）などのデータを転送できます。
Media Manager for WALKMANの操作について詳しくは、Media Manager for WALKMANのヘルプをご覧ください。

WALKMAN Launcher

WALKMAN Launcherは、本機にコンテンツを転送するための各ソフトウェアを起動するためのランチャーです。
音楽やビデオ、写真、ポッドキャストを転送する各ソフトウェアを起動したり、ビデオダウンロードサービスサイトへの接続ができます。

充電する

本機は起動しているパソコンと接続することによって、充電されます
本機とパソコンの接続には、付属のUSBケーブルを使います。
電池残量表示が FULL になったら、充電完了です（充電時間：約3時間）。
はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、なるべく電池残量表示が FULL になるまで充電することをおすすめします。

電池残量の表示について

ご使用中、情報表示エリアの電池残量表示でお知らせします。電池の持続時間（連続再生時）については、☞ 152ページをご覧ください。

目盛りが少なくなるほど、電池残量が減っています。また「電池残量がありません。充電してください。」と表示された場合は、操作できません。本機をパソコンに接続して充電を行ってください。
また、別売りのACアダプター（AC-U50ADなど）を使って充電することもできます。

目次
メニュー
索引

ご注意

- 充電は周囲の温度が5 ～ 35 ℃の環境で行ってください。
- 電池を使いきった状態から充電が可能な回数の目安は500回です。ただし、使用条件により異なります。
- 本機を長期間使わない場合、半年から1年ごとに充電するようにしてください。
- 残量表示は目安です。1つの目盛りが4分の1を示しているわけではありません。
- 本機とパソコン間、またはWALKMANへのデータ転送に対応したオーディオ機器でのデータ転送中は、「USB接続を解除しないでください。」と表示されます。「USB接続を解除しないでください。」と表示されている間は、USBケーブルをはずさないでください。転送中のデータや本機内のデータが破損することがあります。
- パソコンに接続しているときは、本機の操作はできません。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 自作のパソコンや改造したパソコンでの充電は保証できません。
- USB接続時にパソコンがスタンバイ（スリープ）、休止状態に入ると、充電されないため電池が消耗します。
- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗します。電源を接続していないノートパソコンと本機を接続したまま長時間放置しないでください。
- 本機をUSB接続したまま、パソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本体が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。

目次
メニュー
索引

電源を入れる／切る

電源を入れる

HOLDスイッチを矢印（▶）と反対の方向にスライドして解除してから本機のいずれかのボタンを押すと本機の電源が入ります。

電源を切る

OPTION/PWR OFFボタンを押したままにすると、画面表示が消え再生待機状態になります。このときいずれかのボタンを押すと、元の状態に戻り再生画面が表示されます。
再生待機状態のまま最長で1日経過すると、自動的に電源が切れます。このときいずれかのボタンを押すと、起動画面のあとに再生画面などが表示されます。

ヒント

- 本機をお使いになる前に、本機の時刻を合わせてください（☞ 108ページ）。

ご注意

- パソコン接続中は本機を操作することはできません。USBケーブルをはずしてから操作してください。

目次
メニュー
索引

データを取り込む

本機にデータを転送する前に、音楽やビデオ、写真、ポッドキャストなどのデータをパソコンに取り込む必要があります。
音楽やビデオ、写真、ポッドキャストなどのコンテンツは、それぞれ必要なソフトウェアを使用してパソコンに取り込んでください。
データの取り込みかたについて詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください（☞ 16ページ）。
また、本機でサポートしているファイルフォーマットについては、「再生できるファイルの種類」（☞ 149ページ）をご覧ください。

目次
メニュー
索引

データを転送する

本機にデータを転送するには、本機をパソコンにUSBケーブルで接続します。
転送するデータによって転送方法は異なります。

ご注意

- 本機とパソコン間でのデータ転送中は、「USB接続を解除しないでください。」と表示されます。「USB接続を解除しないでください。」と表示されているときはUSBケーブルをはずさないでください。転送中のデータや本機内のデータが破損することがあります。
- 本機をパソコンに接続しているとき、パソコンの起動または再起動をすると、本機が正常に動作しないことがあります。その場合は、本機のRESETボタンを押して、本機をリセットしてください（☞ 120ページ）。パソコンを起動または再起動するときは、本機を取りはずしてから行ってください。

曲を転送する

曲はSonicStageを使って本機に転送することができます。
SonicStageを使って本機に曲を転送する方法については、別冊の「取扱説明書」およびSonicStageのヘルプをご覧ください。

ご注意

- Windowsのエクスプローラを使って転送しても、本機では再生できません。
- 「MUSIC」、「OMGAUDIO」フォルダ内のファイルやフォルダ名を変更したり、ファイルを転送したりしないでください。本機が正常に動作しなくなることがあります。

ビデオ／写真／ポッドキャストのデータを転送する

ビデオや写真、ポッドキャストのデータは、Windowsのエクスプローラを使用するかMedia Manager for WALKMANを使って本機に転送することができます。
Windowsのエクスプローラを使ってドラッグアンドドロップでファイルを転送するときは、再生できるフォルダ階層に制限がありますので、☞ 22～23ページの説明に従って適切な階層に転送してください。
Media Manager for WALKMANを使った転送については、別冊の「取扱説明書」およびMedia Manager for WALKMANのヘルプをご覧ください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

エクスプローラで転送するときの階層と本機の表示

ビデオ

Windowsのエクスプローラでビデオを転送するときは、「VIDEO」フォルダにデータを転送してください。

■ 再生できる階層

「VIDEO」フォルダ以下の、第一階層のファイルや第一階層のフォルダ内のファイル（第二階層のファイル）が再生できます。

フォルダ内にさらにフォルダを作成してファイルを置いても（第三階層以下）再生できません。

ご注意

- 「VIDEO」フォルダのフォルダ名は変更しないでください。本機で表示されなくなります。

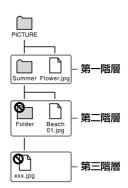
■ 本機での表示

ビデオファイルは転送された順番に表示されます（最新のファイルがリストの先頭に表示されます）。

ヒント

- 本機で表示するビデオファイルにサムネイル（一覧に表示するための小さな画像）を付けるには、以下の規則に従って作成してください。
  - JPEG形式のファイルにする
  - 横160×縦120ドットにする
  - ビデオファイルと同じ名前の”.jpg”ファイルとする
  - ビデオファイルと同じフォルダに置く

次のページにつづく

目次
メニュー
索引

フォト

Windowsのエクスプローラで写真を転送するときは、「PICTURE」フォルダにデータを転送してください。

■ 再生できる階層

「PICTURE」フォルダ以下の、第一階層のファイルや第一階層のフォルダ内のファイル（第二階層のファイル）が再生できます。

フォルダ内にさらにフォルダを作成してファイルを置いても（第三階層以下）再生できません。

ご注意

- 「PICTURE」フォルダのフォルダ名は変更しないでください。本機で表示されなくなります。

■ 本機での表示

データは、数字、アルファベット、日本語の順に表示されます。「PICTURE」フォルダ直下のファイルは<PICTURE>フォルダ内にあります。

ポッドキャスト

Windowsのエクスプローラでポッドキャストを転送するときは、「PODCASTS」フォルダにデータを転送してください。

■ 再生できる階層

「PODCASTS」フォルダ内にあるフォルダの、第二階層のファイルが再生できます。

「PODCASTS」フォルダ直下のファイルや、第三階層以下のファイルは再生できません。

ご注意

- 「PODCASTS」フォルダのフォルダ名は変更しないでください。本機で表示されなくなります。

■ 本機での表示

ポッドキャスト名は、数字、アルファベット、日本語の順に表示されます。

音楽を再生する（ミュージックライブラリ）

音楽を再生するには、♫（ミュージックライブラリ）を選びます。
ホームメニューからリスト画面で希望の項目を選び、音楽再生画面を表示します。音楽再生画面で再生が始まると、曲の情報が表示されます。

目次
メニュー
索引

音楽を再生する

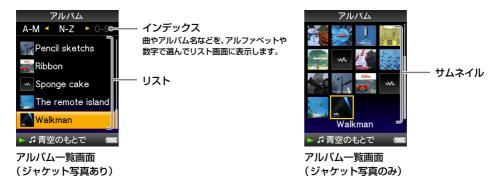
1 ホームメニュー ➡ ♫（ミュージックライブラリ）➡ 希望の項目を選んで曲を探す。

- 曲が表示されるまで項目を選びます。曲を探す方法について詳しくは「リストから選んで再生する」（☞ 27ページ）をご覧ください。

目次
メニュー
索引

音楽再生画面

再生画面での操作

操作ボタン	説明
►II	再生（► 表示）/一時停止*1（II表示） ● 押したままにすると、ブックマークリストへの登録ができます（☞ 42ページ）。
◄/►	前（または再生中）の曲の頭出し/次の曲の頭出し ● 押したままにすると、早送り/早戻しができます。
▲/▼	**「▲▼ボタン設定」が「ダイレクトサーチ」のとき（☞ 54ページ）** 曲情報（アーティスト・アルバム・ジャンル・リリース年）のカーソル表示と検索 ● 曲情報を選択中に►IIボタンを押すと選択した曲情報での一覧を表示してその曲情報から検索できます。*2 **「▲▼ボタン設定」が「フォルダ+/–」のとき（☞ 54ページ）** フォルダ（曲のまとまり）単位での前（または再生中）のフォルダまたは次のフォルダの頭出し

*1 再生/一時停止の切り換えは、再生画面でのみ行えます。
一時停止中に3分以上操作がないと、画面表示が消え再生待機状態になります。

*2 ポッドキャスト（☞ 67ページ）やおまかせチャンネル（☞ 32ページ）の再生中は、再生中の曲から曲情報で検索することはできません。

情報表示エリアの表示

表示	意味
►、II、►►、◄◄、►►I、I◄◄	再生状態
⟲、SHUF など	プレイモード（☞ 44ページ）
🗀	再生範囲設定（☞ 45ページ）。
H など	音の効果（☞ 46、48ページ）
NC	ノイズキャンセリング（NW-S736F/S738F/S739Fのみ）（☞ 98ページ）
🔋	電池残量（☞ 17ページ）

目次
メニュー
索引

リスト画面

以下はリスト画面の一例です。

アルバム一覧画面
（ジャケット写真あり）

アルバム一覧画面
（ジャケット写真のみ）

リスト画面での操作

操作ボタン	説明
►II	選んだ項目の決定 ● 押したままにすると、選んだ項目の全曲を再生できます。 ● 曲一覧で押したままにすると、基本登録ブックマークリストへカーソル位置の曲を登録できます。
▲/▼	カーソルの上下移動 ● 押したままにすると、速くスクロールできます。
◄/►	インデックス表示時：左右の項目に移動 インデックス非表示時：カーソルの左右移動（サムネイル画面）、またはリストの前/次のページを表示

目次
メニュー
索引

リストから選んで再生する

ホームメニューの♫（ミュージックライブラリ）から希望の曲選択方法を選んで再生できます。

ヒント

- 「全曲」、「アルバム」、「アーティスト」の一覧表示は、日本語、アルファベット、数字、その他の順で表示されます。日本語の場合は、読み仮名に変換して50音順に並び、アルファベットの場合は、abc順で表示されます。

曲名から選んで再生する（全曲）

1. **ホームメニュー➜♫（ミュージックライブラリ）➜「全曲」➜希望の曲を選ぶ。**

アルバムから選んで再生する（アルバム）

1. **ホームメニュー➜♫（ミュージックライブラリ）➜「アルバム」➜希望のアルバム➜希望の曲を選ぶ。**

目次
メニュー
索引

アーティストから選んで再生する（アーティスト）

1. ホームメニュー➡♫（ミュージックライブラリ）➡「アーティスト」➡希望のアーティスト➡希望のアルバム➡希望の曲を選ぶ。

ヒント

- アーティスト名の頭文字が、「The（スペース）」、「The・」、「ザ・」、「ジ・」の場合、これらの文字を省略して並び換えます。

ジャンルから選んで再生する（ジャンル）

1. ホームメニュー➡♫（ミュージックライブラリ）➡「ジャンル」➡希望のジャンル➡希望のアーティスト➡希望のアルバム➡希望の曲を選ぶ。

☆評価から選んで再生する（☆評価）

1～5までの星（☆）を付けて曲を評価し、付けた星の数で曲を検索できます。曲の評価について詳しくは、☞41ページをご覧ください。

1. ホームメニュー➡♫（ミュージックライブラリ）➡「☆評価」➡希望の評価（☆1～5で表示）➡希望の曲を選ぶ。

ご注意

- 本機で曲の評価を変更（☞41ページ）しても、☆評価の曲一覧には反映されません。SonicStageと接続してデータベースを更新する必要があります。

曲の発売年から選んで再生する（リリース年）

1. ホームメニュー➡♫（ミュージックライブラリ）➡「リリース年」➡希望の発売年➡希望のアーティスト➡希望の曲を選ぶ。

新しく転送したアルバムから選んで再生する（最近転送したアルバム）

最近3回のSonicStage接続時に転送されたアルバムから検索できます。

1 ホームメニュー➡♫（ミュージックライブラリ）➡「最近転送したアルバム」➡希望の転送回数（「最新」、「前回」、「前々回」のいずれか）➡希望のアルバム➡希望の曲を選ぶ。

プレイリストから探す（プレイリスト）

SonicStageで作成したプレイリストや、本機で作成したプレイリスト（ブックマークリスト）などを再生できます。

1 ホームメニュー➡♫（ミュージックライブラリ）➡「プレイリスト」➡希望のプレイリストの種類➡希望の曲を選ぶ。

種類	説明
プレイリスト	SonicStageで作成するプレイリストです。プレイリストの作成については、SonicStageのヘルプをご覧ください。
ブックマーク1～5	本機で作成するプレイリスト（「ブックマークリスト」と呼びます）です。5つのブックマークリストがあります。ブックマークリスト再生中は再生画面で、再生中のブックマークのアイコン（）に下線が表示されます。ブックマークリストへの曲の登録/編集については、☞42ページをご覧ください。
よく聞く100曲*[1]	SonicStageが自動で作成するプレイリストです。SonicStageに接続したときに、再生回数の多い100曲が更新され、再生回数の多い順に表示します。
削除予定リスト	削除したい曲を登録するリストです。リストに登録すると、次回SonicStageに接続したときに、本機から削除されます。削除予定リストへの曲の登録については、☞36ページをご覧ください。

*[1] 再生した曲が100曲未満のとき、または本機に転送された曲数が100曲未満のときは、その曲数で再生されます。

ご注意

- プレイリストに登録されたジャケット写真は、本機では表示されません。

目次
メニュー
索引

再生した日付から選んで再生する（再生履歴）

再生した日付から曲を選んで再生できます。再生日は古い順に表示されます。

1 ホームメニュー ➡ ♫（ミュージックライブラリ）➡「再生履歴」➡ 希望の再生日付 ➡ 希望の曲を選ぶ。

ヒント

- 本機で曲を15秒以上再生後、SonicStageに接続することにより、その時点までに再生した曲が再生履歴の曲一覧に反映されます。
- 再生時間が15秒未満の曲は、再生履歴の曲一覧に反映されません。

ご注意

- 電池を使いきった状態でしばらく放置すると、日付と時刻がリセットされる場合があります。本機の時計がリセットされると、再生回数の履歴が残りません。

頭文字から選んで再生する（イニシャルサーチ）

アーティスト名、アルバム名、曲名の頭文字（イニシャル）、または読み仮名で曲を検索できます。

1 ホームメニュー ➡ ♫（ミュージックライブラリ）➡「イニシャルサーチ」➡ 希望の検索対象 ➡ 希望の文字種類（「カナ」または「英数・他」）➡ 希望の文字を選ぶ。

検索が終わると検索結果画面が表示されます。

- 「アーティスト」または「アルバム」を選んだ場合は、一覧から更に細かく曲を検索できます。

シャッフル再生する（インテリジェントシャッフル）

曲をシャッフル再生します。再生回数や発売年でのシャッフルモードもあります。

1 ホームメニュー→♫（ミュージックライブラリ）→「インテリジェントシャッフル」→希望のシャッフルモードの種類を選ぶ。

種類	説明
よく聞くシャッフル	ミュージックライブラリ内の再生回数の多い100曲を順不同に再生します。 • よく聞く100曲は、SonicStage接続時に、それまでの再生回数をもとに更新されます。 • 本機に転送された曲数が100曲未満のときは、その曲数で再生されます。
タイムマシンシャッフル	発売年がランダムに選ばれ、その年に発売されたミュージックライブラリ内のすべての曲を順不同に再生します。 • 発売年が不明な曲は、タイムマシンシャッフルで選ばれず、再生されません。 • 本機に保存されている全曲の発売年が不明な場合は、全曲シャッフル再生します。 • 本機に保存されている全曲の発売年が1つの年だけの場合、または1つの年以外の曲の発売年が不明な場合は、発売年選択中のアニメーションは表示されず、再生が始まります。
全曲シャッフル	本機のミュージックライブラリ内の曲を順不同に再生します。

ヒント

- インテリジェントシャッフル再生は、以下の操作で解除されます。
  - インテリジェントシャッフル以外の方法で曲を選んで再生する。
  - プレイモードを変更する。
  - 再生範囲を変更する。
- インテリジェントシャッフル再生を始めると、プレイモード（☞ 44ページ）は「シャッフル」または「シャッフルリピート」に切り換わります。その後、インテリジェントシャッフル再生をやめても、プレイモードの「シャッフル」、「シャッフルリピート」は切り換わったままとなります。
- タイムマシンシャッフル再生を始めると、再生範囲は「選択範囲内を再生」に切り換わります（☞ 45ページ）。その後、インテリジェントシャッフル再生をやめても、再生範囲の「選択範囲内を再生」は切り換わったままとなります。

目次
メニュー
索引

おまかせチャンネルで再生する

おまかせチャンネルとは、曲調によって音楽が自動でチャンネルに振り分けられ、チャンネル別に雰囲気や気分に合わせた再生を楽しむことができる機能です。
曲の雰囲気による再生のほかに、1日の再生時間帯でチャンネルが切り換わるおすすめチャンネルもあります。

ヒント

- おまかせチャンネルは、以下の技術により実現されます。
  - ソニーが開発した12音解析技術に対応したソフトウェアや機器からの音楽ファイル転送
  - ソニーが開発した低演算量音楽特徴抽出/解析技術 "LCMIR" による本機での音楽解析（☞ 35ページ）
- 2008年10月以降提供予定のSonicStage Vをご使用になると、本機でのおまかせチャンネル再生用に曲解析を行ったうえで音楽を転送することができます。

おまかせチャンネルで音楽を再生する

お好みのチャンネルを選択して再生します。

1 ホームメニュー → (おまかせチャンネル) を選ぶ。

チャンネル一覧と再生画面が表示され、曲の再生が始まります。

2 ▲/▼ボタンで希望のチャンネル（☞ 34ページ）を選ぶ。

選択したチャンネルの曲の途中から再生が始まります。

- 音楽再生画面と同様に、◀/▶ ボタンで前（再生中）の曲の頭出し、次の曲の頭出しができます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ヒント

- チャンネル内の曲の再生順は、再生のたびに変わります。
- 2008年10月以降提供予定のSonicStage Vを使って転送した曲は、曲のサビの部分からの再生が始まります。

ご注意

- 音楽ファイルのフォーマットによっては12音解析対応のソフトウェアでも解析されない場合があります。その場合は、本機のオプションメニューで「チャンネルを更新」を選んで解析できます（☞ 35ページ）。
- ミュージックライブラリ内の曲のみが再生されます。本機で録音した曲や、ポッドキャストのデータはおまかせチャンネルの再生対象にはなりません。
- どのチャンネルにも分類されなかったり、同じ曲が複数のチャンネルに分類されることもあります。分類されなかった曲は「全曲シャッフル」で再生されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

チャンネル一覧

チャンネル名	説明
朝のおすすめ (05:00-09:59)	現在の時間帯に合ったおすすめの曲を再生します。
昼のおすすめ (10:00-15:59)	
夕方のおすすめ (16:00-18:59)	
夜のおすすめ (19:00-23:59)	
深夜のおすすめ (24:00-04:59)	
全曲シャッフル	ミュージックライブラリの曲を全曲シャッフル再生します。
アクティブ	リズム、ラップ、R&Bなどのアップテンポな曲を再生します。
リラックス	リラックスした穏やかな曲、環境音楽などを再生します。
アップビート	アップビートな曲、ムードを盛り上げる曲などを再生します。
スローバラード	メロウな曲、スローテンポなバラードなどを再生します。
ソファラウンジ	ジャスやボサ・ノバなどのラウンジ・ミュージックを再生します。
アコースティック	アコースティックなインスツルメンタル曲などを再生します。
エレクトロニック	エレクトロニックなインスツルメンタル曲などを再生します。
クラシック	クラシック音楽などの曲を再生します。
エクストリーム	激しいロック曲などを再生します。

ご注意

- 解析の結果、1曲も分類されなかったチャンネル名は表示されません。
- どのチャンネルにも該当しない曲もあります。
- 時間帯によるおすすめ曲を再生する場合は、本機の時間を正しく設定してください（☞ 108ページ）。
- 時間帯別のおすすめチャンネルの再生中に、時間帯の境界を越えても、次の時間帯のチャンネルには自動で切り換わりません。その際は一度別のチャンネルへ切り換えてください。

目次
メニュー
索引

本機で音楽を解析する

ソフトウェアで音楽解析が行われていない曲は、本機で音楽解析することができます。

1 ホームメニュー ➡ （おまかせチャンネル）を選ぶ。

チャンネル一覧と再生画面が表示され、曲の再生が始まります。

2 OPTION/PWR OFF ボタンを押してオプションメニューを表示する。

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンで「チャンネルを更新」を選び、▶II ボタンを押して決定する。

音楽解析されていない曲すべてが本機で解析されます。

- 解析中はメッセージが表示され、終了するとチャンネル一覧に戻ります。

ヒント

- 手順 3 の操作中に BACK/HOME ボタンを押して解析を途中で中断することができます。中断するまでに解析が終了している曲は、おまかせチャンネルに反映されます。
- 音楽解析がされていない曲が本機内にあると、最初にホームメニューからおまかせチャンネル選んだときに、「解析されていない曲があります。オプションメニューからチャンネルの更新を実行してください。」と表示されます。
- ソニーが開発した低演算量音楽特徴抽出/解析技術 "LCMIR" により本機での音楽解析は行われます。

ご注意

- 本機での音楽解析はすべての曲を一度に解析します。個別の曲を選んで解析することはできません。
- 本機での解析結果と、ソフトウェアやその他の解析可能な再生機器での解析結果は異なることがあります。
- 本機で解析した曲をおまかせチャンネルで再生する場合は、曲の最初から 45 秒後の位置から再生が始まります。90 秒以下の曲の場合は曲の半分の位置から再生されます。

目次
メニュー
索引

ミュージックライブラリ内の曲を削除する

SonicStageから転送した曲（ミュージックライブラリ内の曲）を削除するには、本機で削除予定リストに登録してからSonicStageに接続すると本機からまとめて削除できます。

1. **削除したい曲の再生画面を表示する。**
2. **OPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。**
3. **▲/▼/◀/▶ボタンで「削除予定に登録」を選び、▶IIボタンを押して決定する。**

   「削除予定リストに登録しました。」と表示され、登録が完了します。
   - 次回のSonicStage接続時に登録した曲が削除されます。削除されるのは本機内の曲のみで、SonicStageに保存されている曲は削除されません。

ヒント

- 曲一覧からも削除予定に登録できます。曲一覧で削除したい曲を選択中にOPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「削除予定に登録」を選びます。
- 削除予定リストには100曲まで登録できます。
- 削除予定リストに登録された曲は、削除予定リスト以外の曲一覧では削除予定のアイコン（🗑）がついて表示され、再生できません。
- 削除予定リストは、プレイリストの一覧の中にあります。（☞ 29ページ）
- 本機で削除予定リストに登録せずに、SonicStageで本機に転送した曲を削除することもできます。

ご注意

- 本機で録音した曲を削除するには、☞ 93ページをご覧ください。
- 削除予定リストに登録し本機から削除された曲は、以降、SonicStageに接続しても本機に自動的に転送されません。手動で転送する場合の操作については、SonicStageのヘルプをご覧ください。
- 曲の再生中に削除予定リストへの登録を行った場合、登録完了後に次の曲の再生が始まります。

目次
メニュー
索引

削除予定リストから曲を解除する

1 ホームメニュー ➜ ♫（ミュージックライブラリ）➜「プレイリスト」➜「削除予定リスト」を選ぶ。

2 OPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。

3 ▲/▼/◀/▶ボタンで曲を選び、「削除予定を解除」を選び、▶IIボタンを押して決定する。

選んだ曲が削除予定から解除されます。

- 「削除予定を全解除」を選んだ場合は、確認のメッセージが表示され、「はい」を選ぶと削除予定からすべての曲が解除されます。

目次
メニュー
索引

音楽のオプションメニューを使う

音楽のリスト画面や再生画面でOPTION/PWR OFFボタンを押すと、音楽のオプションメニューを表示できます。オプションメニューの使いかたは☞14ページをご覧ください。
画面によってオプションメニューに表示される項目は異なります。各項目の設定値や使いかたは参照ページをご覧ください。

リスト画面でのみ表示される項目

項目	説明 / 参照ページ
再生画面へ	再生中、または前回再生していたコンテンツの再生画面が表示されます。
録音画面へ	録音画面が表示されます（☞91ページ）。
FMラジオ画面へ	FMラジオ放送の再生画面が表示されます（☞80ページ）。
これを再生	選んだ項目の再生を始めます。
アルバム表示形式	アルバム一覧の表示形式を設定します（☞52ページ）。
音楽再生画面へ	最後に再生した曲の再生を始めます。
曲の並べ替え	ブックマークリストの曲順を並べ換えます（☞43ページ）。

再生画面で表示される項目

項目	説明 / 参照ページ
プレイモード	再生方法を設定します（☞44ページ）。
再生範囲設定	再生範囲を設定します（☞45ページ）。
☆評価	曲の評価ができます。（☞41ページ）
イコライザ	音質を設定します（☞46ページ）。
VPT（サラウンド）	VPT（サラウンド）を設定します（☞48ページ）。
ジャケット写真	ジャケット写真が表示されます（☞39ページ）。
詳細情報	曲の再生時間、音楽ファイル形式、ビットレートなどが表示されます（☞40ページ）。
曲の詳細情報	おまかせチャンネルで曲の再生時間、音楽ファイル形式、ビットレートなどが表示されます（☞40ページ）。
チャンネルを更新	おまかせチャンネルで未解析の曲を本機で解析します（☞35ページ）。

次のページにつづく⇩

目次
メニュー
索引

項目	説明 / 参照ページ
ブックマーク	ブックマークリストの登録/解除ができます（☞ 42ページ）。
ブックマークを全解除	ブックマークリストからすべての曲を解除します（☞ 42ページ）。
削除予定に登録	削除予定リストに登録します（☞ 36ページ）。
削除予定を解除	削除予定リストから解除します（☞ 37ページ）。
削除予定を全解除	削除予定リストからすべての曲を解除します（☞ 37ページ）。
▲▼ボタン設定	▲/▼ボタンに「ダイレクトサーチ」または「フォルダ+/–」を割り当てる設定をします（☞ 54ページ）。
時計表示	現在時刻を表示します（☞ 109ページ）。

ジャケット写真画面を拡大表示する

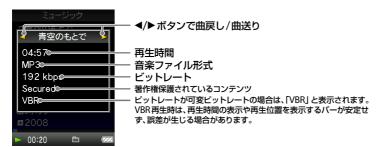
1. **音楽再生画面でOPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。**

2. **▲/▼/◀/▶ボタンで「ジャケット写真」を選び、▶IIボタンを押して決定する。**
   - ジャケット写真が登録されていない場合は、本機内の決まった画像が表示されます。

ジャケット写真画面

◀/▶ボタンで曲戻し/曲送り

ヒント

- ジャケット写真はSonicStageで登録できます。ジャケット写真の登録方法については、SonicStageのヘルプをご覧ください。

ご注意

- SonicStageのプレイリストに登録されたジャケット写真は、本機では表示されません。

目次
メニュー
索引

詳細情報画面を表示する

1 **音楽再生画面でOPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。**

2 **▲/▼/◀/▶ボタンで「詳細情報」を選び、▶IIボタンを押して決定する。**

詳細情報画面

ヒント

- おまかせチャンネルの再生中に、OPTION/POWER OFFボタンでオプションメニューを表示して「曲の詳細情報」を選び、曲の詳細情報を表示することもできます。

曲を評価する

曲に最高5つまで星（★）が付けられます。好きな曲に星を付け、星の数から曲を探すこともできます（☞ 28ページ）。
評価には、自分で設定できる手動評価（★）と、SonicStageが設定する自動評価（☆）があります。

1 音楽再生画面でOPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。

2 ▲/▼/◀/▶ボタンで「☆評価」を選び、▶IIボタンを押して決定する。

3 ▲/▼ボタンで評価の種類を選び、▶IIボタンを押して決定する。

- ◀/▶ボタンを押すと、前の曲や次の曲の頭出しができるので、連続して評価ができます。
- ▶IIボタンで決定後、▲/▼ボタンで「閉じる」を選ぶと再生画面に戻ります。

種類	説明
手動評価 （★～★★★★★）	▲/▼ボタンで評価の値（★）を選びます。
自動評価	再生回数や再生操作をもとに、SonicStageが設定します。 • SonicStageで「☆評価」が未設定の曲を本機に転送した場合、本機では手動評価の★3つ（★★★）が表示されます。また、本機では「☆評価」を未設定に変更できません。

ヒント

- 設定した評価による曲の検索は、次回SonicStageに接続したとき以降からできます。

目次
メニュー
索引

ブックマークリストを選んで登録する／解除する

ブックマークとは本機で作成するプレイリストです。
「ブックマーク1～5」から選んで曲を登録したり、解除したりできます。

1 ブックマークリストに登録したい、または解除したい曲の再生画面でOPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。

2 ▲/▼/◀/▶ボタンで「ブックマーク」を選び、▶II ボタンを押して決定する。

3 ▲/▼ボタンで曲を登録したい、または解除したいブックマークリストを選び、▶II ボタンを押して決定する。

選択したブックマークの左側にチェックマークが表示されるか、またはチェックマークが消えます。

- ◀/▶ボタンを押すと、前の曲や次の曲の頭出しができるので、連続してブックマークの登録や解除ができます。
- ▶II ボタンで決定後、▲/▼ボタンで「閉じる」を選ぶと再生画面に戻ります。

ヒント

- ブックマークリストに登録したい曲の再生画面、または曲一覧での曲の選択中に、▶II ボタンを押したままにすると、「ブックマーク1」（基本登録先）に登録できます。
- お買い上げ時の基本登録先のブックマークリストは、「ブックマーク1」に設定されています。基本登録先のブックマークリストは変更できます（☞ 51ページ）。
- 1つのブックマークリストにつき100曲まで登録できます。
- ブックマークリストの曲一覧や再生画面でOPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「ブックマークを全解除」を選ぶとブックマークリストに含まれているすべての曲を解除できます。
- 曲一覧からも登録や解除ができます。曲一覧でブックマークリストに登録または解除したい曲を選択中にOPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「ブックマーク」を選びます。この場合、◀/▶をボタン押してブックマークを連続して登録や解除をすることができません。
- 本機で作成したブックマークリストをSonicStageに取り込み、SonicStageのプレイリストとして編集を行うこともできます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ご注意

- すでにブックマークリストに登録されている曲は、同じブックマークリストに再登録することはできません。
- ブックマークリストの登録は、1曲ずつ行います。アルバムなどをまとめてブックマークリストに登録することはできません。
- ビデオ、写真、ポッドキャストおよび本機で録音した曲はブックマークリストに登録することはできません。

ブックマークリストの曲順を変えるには

ブックマークリスト内の曲順をお好みの順番に変更することができます。

1. **ホームメニュー → ♫(ミュージックライブラリ) →「プレイリスト」→ 曲順を変更したいブックマークリストを選ぶ。**
2. **OPTION/PWR OFF ボタンを押してオプションメニューを表示する。**
3. **▲/▼/◀/▶ ボタンで「曲の並べ替え」を選び、▶II ボタンを押して決定する。**
4. **▲/▼/◀/▶ ボタンで曲順を変えたい曲を選び、▶II ボタンを押して決定する。**
5. **▲/▼/◀/▶ ボタンで移動先を選び、▶II ボタンを押して決定する。**
   手順4で選んだ曲が、手順5で選んだ位置に移動します。
   - 複数の曲を移動する場合は、手順4と手順5を繰り返します。

ご注意

- 曲の並べ換え中に無操作の時間が、「スクリーンセーバー設定」の「待ち時間」(☞ 107ページ)で設定した時間を過ぎると、曲の並べ換えはキャンセルされます。

目次
メニュー
索引

音楽の設定を変更する

音楽の設定を変更するには、（各種設定）の「音楽設定」を選びます。

1 ホームメニュー→（各種設定）→「音楽設定」→希望の設定を選ぶ。

- 各音楽設定項目については、☞ 44 ～ 54ページをご覧ください。

ご注意

- 数値の項目を決定したあとは、必ず►IIボタンを押して決定してください。
  決定する前にBACK/HOMEボタンを押すと、設定がキャンセルされます。

プレイモード

曲を順不同に聞いたり、選んだ再生方法で繰り返し再生できます。

1 ホームメニュー→（各種設定）→「音楽設定」→「プレイモード」→希望のプレイモードの種類を選ぶ。

種類（アイコン）	説明
ノーマル（表示なし）	再生範囲の曲を順に再生します。（お買い上げ時の設定）
リピート（）	再生範囲の曲を順に繰り返し再生します。
シャッフル（SHUF）	再生範囲のすべての曲を順不同に再生します。
シャッフルリピート（SHUF）	再生範囲のすべての曲を順不同に繰り返し再生します。
1曲リピート（1）	再生中または再生を始めた曲を繰り返し再生します。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ヒント

- ミュージックライブラリ内の曲だけでなく、本機で録音した曲（☞ 86ページ）も、プレイモードを変更できます。

ご注意

- 設定した再生範囲（次項を参照）によって、再生内容が異なります。
- インテリジェントシャッフル再生を始めると、プレイモードは「シャッフル」または「シャッフルリピート」に切り換わります。
- 本機ではミュージックライブラリ内の曲と録音フォルダ内の曲はそれぞれ保存場所が異なります。そのため、ミュージックライブラリ内の曲と録音フォルダ内の曲をあわせたシャッフル再生や連続再生はできません。

再生範囲設定

曲の再生範囲を設定できます。

1 ホームメニュー → （各種設定）→「音楽設定」→「再生範囲設定」→ 希望の再生範囲の種類を選ぶ。

種類	説明
全範囲を再生	ミュージックライブラリ内の曲、または録音したすべての曲を再生します。 ミュージックライブラリ内のアルバムなどを順に再生したい場合はこちらを選択してください。
選択範囲内を再生	情報表示エリアに が表示され、再生を始めた項目（アーティストやアルバム）内の曲、または録音した曲のフォルダ内の曲のみを再生します。（お買い上げ時の設定）

ご注意

- プレイリスト一覧（☞ 29ページ）で「ブックマークリスト」、「よく聞く100曲」、「削除予定リスト」を選んで再生を始めた場合、再生範囲の設定は無効です。
- タイムマシンシャッフル再生（☞ 31ページ）を始めると、再生範囲は「選択範囲内を再生」に切り換わります。

目次
メニュー
索引

イコライザ

音楽のジャンルなどに合わせて音質を設定できます。

1 ホームメニュー → （各種設定）→「音楽設定」→「イコライザ」→ 希望のイコライザの種類を選ぶ。

種類（アイコン）	説明
オフ	イコライザ機能を無効にし、通常の音で再生します。（お買い上げ時の設定）
ヘビー（H）	低域と高域を強調した迫力のある音質になります。
ポップス（P）	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
ジャズ（J）	メリハリのある低域と高域を強調した音質になります。
ユニーク（U）	小さな音でも比較的聞き取りやすいように低域と高域を強調した音質になります。
カスタム 1（1）	自分で設定した値になります。設定方法は☞ 47 ページをご覧ください。
カスタム 2（2）	

ご注意

- 「カスタム 1」または「カスタム 2」を選んだときと、それ以外の音質で音量が変わったように感じる場合は、音量を調節してください。
- ビデオ、FM ラジオ、ノイズキャンセリング機能の外部入力、または録音モニターの音声には、イコライザの設定は反映されません。

目次
メニュー
索引

イコライザの値をカスタム設定する

CLEAR BASS（低音）と5音域のイコライザの値を設定し、「カスタム 1」または「カスタム 2」としてあらかじめ登録できます。

1. **ホームメニュー ➡ 🧰（各種設定）➡「音楽設定」➡「イコライザ」➡「カスタム 1」または「カスタム 2」の「設定」を選ぶ。**

2. **◀/▶ボタンでCLEAR BASSまたは音域のスライダーを選択し、▲/▼ボタンで設定値を選び、▶IIボタンを押して決定する。**

   イコライザ項目一覧に戻ります。
   - CLEAR BASSは4段階、5つの音域は7段階で設定できます。
   - 数値を決定したあとは、必ず▶IIボタンを押して決定してください。
     決定する前にBACK/HOMEボタンを押すと、設定がキャンセルされます。

ご注意

- ビデオ、FMラジオ、ノイズキャンセリング機能の外部入力、または録音モニターの音声には、イコライザの設定は反映されません。

目次
メニュー
索引

VPT（サラウンド）

VPT*1（サラウンド）機能を使った音響効果を設定し、再生音に臨場感を設定できます。
スタジオ→ライブ→クラブ→アリーナの順で臨場感が広がります。

1 ホームメニュー→（各種設定）→「音楽設定」→「VPT（サラウンド）」→希望のVPT（サラウンド）の種類を選ぶ。

種類	説明
オフ	VPT機能を無効にし、通常の音で再生します。（お買い上げ時の設定）
スタジオ	録音スタジオにいるような臨場感になります。
ライブ	ライブハウスにいるような臨場感になります。
クラブ	クラブにいるような臨場感になります。
アリーナ	アリーナ会場にいるような臨場感になります。
マトリックス	全方向から音が再現されるようなチューニングを加えたモードで、ナチュラルな再生音ながら豊かなサラウンド音場感が得られます。
カラオケ	センターボーカルを減衰させ、演奏音に対してサラウンド効果を持たせることで、ステージ上にいるような臨場感を得ることができます。

*1 VPT : Virtual Phones Technology（バーチャルホンテクノロジー）は、ソニーが独自に開発した特殊音響効果です。

ご注意

- ビデオまたはFMラジオ、録音モニターや外部入力の音声には、VPT（サラウンド）の設定は反映されません。

目次
メニュー
索引

DSEE（高音域補完）

圧縮音源に対して高音質化処理を施し、さらに圧縮で取り除かれた高音域を補完することで、オリジナル音源に近い自然で広がりのある音を再現します。

1 ホームメニュー → （各種設定）→「音楽設定」→「DSEE（高音域補完）」→ 希望の種類を選ぶ。

種類	説明
オン	DSEE*1（高音域補完）機能が有効になり、オリジナル音源に近い自然で広がりのある音で再生します。
オフ	DSEE（高音域補完）機能を無効にし、通常の音で再生します。（お買い上げ時の設定）

*1 DSEE とは Digital（デジタル） Sound（サウンド） Enhancement（エンハンスメント） Engine（エンジン） の略称で、ソニーが独自開発した高音域補完技術です。

ご注意

- ビデオまたはFMラジオ、録音モニターや外部入力の音声には、DSEE（高音域補完）の設定は反映されません。
- 高音域が失われていない圧縮されていないファイル形式や高いビットレートの曲には、DSEE（高音域補完）機能は働きません。
- 適切に補完できない低すぎるビットレートの曲には、DSEE（高音域補完）機能は働きません。

目次
メニュー
索引

クリアステレオ

ヘッドホンの左右から出る音を、デジタル処理によりくっきりと区別してよりステレオ感を強調した音で再生します。

1 ホームメニュー➡ （各種設定）➡「音楽設定」➡「クリアステレオ」➡希望の種類を選ぶ。

種類	説明
オン	クリアステレオ機能の効果を得たい場合に選びます。
オフ	クリアステレオ機能を無効にし、通常の音で再生します。（お買い上げ時の設定）

ご注意

- ビデオまたはFMラジオ、録音モニターや外部入力の音声には、クリアステレオの設定は反映されません。
- クリアステレオ機能は、付属のヘッドホンで効果が最適になるように設定されています。他のヘッドホンではクリアステレオの効果が感じられないことがあります。その場合は、クリアステレオ機能を「オフ」にしてください。

ダイナミックノーマライザ

曲どうしの音量レベルの差が少なくなるように音量を揃えて再生できます。この設定により、録音レベルの異なる複数のアルバムの曲をシャッフル再生するときでも、曲によって音量が大きすぎたり、小さすぎたりするのを避けられます。

1 ホームメニュー➡ （各種設定）➡「音楽設定」➡「ダイナミックノーマライザ」➡希望の種類を選ぶ。

種類	説明
オン	曲どうしの音量レベルの差が少なくなります。
オフ	曲を取り込んだときの音量レベルのまま再生します。（お買い上げ時の設定）

ご注意

- ビデオまたはFMラジオ、録音モニターや外部入力の音声には、ダイナミックノーマライザの設定は反映されません。

目次
メニュー
索引

ブックマーク基本登録先

基本登録先のブックマークリストを「ブックマーク1」（お買い上げ時の設定）から変更することができます。

1. **ホームメニュー ➡ 🧰（各種設定）➡「音楽設定」➡「ブックマーク基本登録先」を選ぶ。**

2. **「ブックマーク1」～「ブックマーク5」からブックマークリストを選び、►II ボタンを押して決定する。**
   選んだブックマークリストが、基本登録先のブックマークリストに設定されます。

目次
メニュー
索引

アルバム表示形式

アルバム一覧の表示形式を選べます。

❶ ホームメニュー ➡ (各種設定) ➡「音楽設定」➡「アルバム表示形式」➡ 希望のアルバム表示の種類を選ぶ。

種類	アルバム名のみ	ジャケット写真あり (お買い上げ時の設定)	ジャケット写真のみ
画面	アルバム A-M N-Z 0-9 Honey Lunch Monksfood Pencil sketchs Ribbon Sponge cake The remote island Walkman ♫ 青空のもとで	アルバム A-M N-Z 0-9 Pencil sketchs Ribbon Sponge cake The remote island Walkman ♫ 青空のもとで	アルバム Walkman ♫ 青空のもとで

ヒント

- SonicStageで登録されたジャケット写真が表示されます。ジャケット写真の登録方法については、SonicStageのヘルプをご覧ください。
  なお、プレイリストに登録されたジャケット写真は、本機では表示されません。

曲切り換わり時表示

スクリーンセーバーの種類を「時計」または「画面オフ」に設定した場合（☞ 107ページ）、一定時間操作がないとスクリーンセーバーに切り換わるか画面表示が消えます。「曲切り換わり時表示」を「オン」に設定すれば、曲の切り換わり時に再生画面を自動的に表示するように設定できます。

1 ホームメニュー ➡ （各種設定）➡「音楽設定」➡「曲切り換わり時表示」➡ 希望の種類を選ぶ。

種類	説明
オン	曲が切り換わったとき、再生画面を表示します。
オフ	一定時間操作がないとスクリーンセーバーに切り換わるか画面表示が消えます。（お買い上げ時の設定）

ご注意

- 音楽を再生しながら写真を表示している場合は、「曲切り換わり時表示」の設定は反映されません。

目次
メニュー
索引

▲▼ボタン設定

本機の音楽再生画面で▲/▼ボタンの設定を曲情報からの検索機能にするか、フォルダ単位での選曲機能にするか設定できます。

❶ **ホームメニュー➡ （各種設定）➡「音楽設定」➡「▲▼ボタン設定」➡希望の種類を選ぶ。**

種類	説明
ダイレクトサーチ	▲/▼ボタンを押すと、カーソルが表示され、曲情報の各項目を移動し、►IIボタンで決定すると曲情報での選曲ができます（☞25ページ）。（お買い上げ時の設定）
フォルダ+/–	▲/▼ボタンにフォルダ単位での選曲機能を割り当てます。フォルダ単位でジャンプし、再生します。 • 「▲▼ボタン設定」を「フォルダ+/–」にすると、曲選択をする直前のフォルダの単位での曲選択に変わります。例えば、「アーティスト」－アルバム一覧－曲一覧の順で曲を選んでいる場合、アルバム単位で曲が選ばれます。

ビデオを再生する（ビデオライブラリ）

ビデオを再生するには、（ビデオライブラリ）を選びます。

ビデオを再生する

1. **ホームメニュー → （ビデオライブラリ）→ 希望のビデオを選ぶ。**

ヒント

- すべてのビデオを続けて再生する場合は、「連続再生設定」を「オン」にします（☞ 64ページ）。
- 「画面表示」を「オン」に設定している場合（☞ 64ページ）、ビデオの再生状態を示すアイコン、再生経過時間などの詳細情報が表示されます。「オフ」に設定すると詳細情報を消して再生できます。

目次
メニュー
索引

ビデオ再生画面

再生画面での操作

操作ボタン	説明
►II	再生（► 表示）/一時停止 *1 （II 表示）
◄/► *2	再生中のビデオの早送り（►►）/早戻し（◄◄） ● 再生中に►/◄ボタンを押すごとに、3段階で早送り再生（►►1（10倍）、►►2（30倍）、►►3（100倍））/早戻し再生（1◄◄（10倍）、2◄◄（30倍）、3◄◄（100倍））します。►IIボタンを押すと、早送り/早戻しを終了して、再生に戻ります。 ● 少し先に進む（●➡）/戻る（⬅●）には、一時停止中に►/◄ボタンを押します *3。 ● 一時停止中の早送り/早戻しは、一時停止中に►/◄ボタンを押したままにします。*4
▲/▼ *2	前（再生中）のビデオの頭出し（I◄◄）/次のビデオの頭出し（►►I）*5 ● ビデオにチャプターが設定されている場合は、チャプター戻し/送りができます。

*1 再生/一時停止の切り換えは、再生画面でのみ行えます。
一時停止中に3分以上操作がないと、画面表示が消え再生待機状態になります。

*2 画面表示方向を横にすると、▲/▼ボタンと◄/►ボタンの働きが入れ換わります。

*3 進む/戻る間隔は、ビデオによって異なります。

*4 一時停止中に◄/►ボタンを押したままにしたときの早戻し/早送りの速度は、ビデオの長さによって異なります。

*5 前／次のビデオの頭出しは、「連続再生設定」が「オン」の場合のみ有効です（☞ 64ページ）。「連続再生設定」が「オン」に設定されている場合は、▲ボタンを2回押すと再生中の前のビデオの頭出しができます。

次のページにつづく ⇩

情報表示エリアの表示

表示	意味
►、II、►►、◄◄、►►I、I◄◄ など	再生状態（☞ 56ページ）
CONT	連続再生設定（☞ 64ページ）
AUTO、FULL	ズーム設定（☞ 61ページ）
NC	ノイズキャンセリング（NW-S736F/S738F/S739Fのみ）（☞ 98ページ）
（電池アイコン）	電池残量（☞ 17ページ）

目次
メニュー
索引

目次
メニュー
索引

リスト画面

リスト画面での操作

操作ボタン	説明
►II	選んだ項目の決定
▲/▼	カーソルの上下移動 • 押したままにすると、速くスクロールします。
◄/►	リストの前/次のページを表示

ヒント

- ビデオ一覧の表示形式を変えられます。詳しくは、「ビデオ一覧表示形式」（☞ 65ページ）をご覧ください。
- ビデオ一覧で、一度も再生していないビデオには NEW アイコンが付いて表示されます。
- 最後に再生したビデオを再生することができます。ビデオ一覧を表示中にOPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「最近再生したビデオ」を選びます。

ご注意

- ビデオ一覧で表示できるビデオファイル数は1,000ファイルです。

目次
メニュー
索引

ビデオを削除する

本機に転送したビデオを削除することができます。

1. **ホームメニュー ➡ (ビデオライブラリ) ➡ 希望のビデオを選ぶ。**

2. **OPTION/PWR OFF ボタンを押してオプションメニューを表示する。**

3. **▲/▼/◀/▶ ボタンで「このビデオを削除」を選び、▶II ボタンを押して決定する。**

4. **▲/▼/◀/▶ ボタンで「はい」を選び、▶II ボタンを押して決定する。**
   ビデオが削除されます。

ヒント

- ビデオの再生画面からもビデオの削除ができます。OPTION/PWR OFF ボタンを押し、オプションメニューから「このビデオを削除」を選びます。
- 本機からビデオファイルを削除するには、Media Manager for WALKMAN または Windows のエクスプローラを使って削除することもできます。Media Manager for WALKMAN で転送したものは Media Manager for WALKMAN で、Windows のエクスプローラで転送したものは Windows のエクスプローラを使って削除してください。

目次
メニュー
索引

ビデオのオプションメニューを使う

ビデオ一覧などのリスト画面（サムネイル画面を含む）やビデオの再生画面でOPTION/PWR OFFボタンを押すと、ビデオのオプションメニューを表示できます。オプションメニューの使いかたは☞14ページをご覧ください。
画面によってオプションメニューに表示される項目は異なります。各項目の設定値や使いかたは参照ページをご覧ください。

リスト画面でのみ表示される項目

項目	説明 / 参照ページ
再生画面へ	再生画面が表示されます。
録音画面へ	録音画面が表示されます（☞91ページ）。
FMラジオ画面へ	FMラジオ放送の再生画面が表示されます（☞80ページ）。
ビデオ一覧表示形式	ビデオ一覧の表示形式を設定します（☞65ページ）。
最近再生したビデオ	最後に再生したビデオを再生します。

再生画面で表示される項目

項目	説明 / 参照ページ
頭出し再生	ビデオをはじめから再生します。
ズーム設定	ズームを設定します（☞61ページ）。
ビデオ表示方向	ビデオを表示する方向を設定します（☞63ページ）。
画面表示	画面に情報を表示する／しないの設定をします（☞64ページ）。
詳細情報	ビデオのファイルサイズ、解像度、ビデオ/オーディオファイルの圧縮形式、ファイル名などが表示されます。
このビデオを削除	選んだビデオを本機から削除します（☞59ページ）。
輝度設定	画面の明るさを設定します（☞108ページ）。
時計表示	現在時刻を表示します（☞109ページ）。
音楽再生画面へ	最後に再生した曲の再生を始めます。

ビデオの設定を変更する

ビデオの設定を変更するには、（各種設定）の「ビデオ設定」を選びます。

1. ホームメニュー → （各種設定）→「ビデオ設定」→ 希望の設定を選ぶ。
   - 各ビデオ設定項目については、次に説明します。

ズーム設定

再生中のビデオを拡大して見られます。

1. ホームメニュー → （各種設定）→「ビデオ設定」→「ズーム設定」→ 希望のズーム設定の種類を選ぶ。

種類	説明
オート	ビデオの横縦比を維持したままビデオの長辺が表示領域いっぱいに拡大/縮小され、表示されます。16:9（横長）のビデオは、長辺が表示領域いっぱいに表示され、画面の上下は黒く表示されます。（お買い上げ時の設定） 4：3の画像　16：9の画像

フル	ビデオの横縦比を維持したまま、ビデオの短辺が表示領域いっぱいになるように拡大/縮小され、表示されます。 16:9(横長)のビデオは、短辺が表示領域いっぱいに表示され、左右は切り取られて表示されます。 4:3の画像　16:9の画像 ● 点線の枠は元の画像の大きさを表しています。
オフ	拡大/縮小はしないで保存されているビデオの解像度で表示されます。ビデオの解像度が大きすぎるときは、上下左右が切り取られて表示されます。 4:3の画像　16:9の画像 ● 点線の枠は元の画像の大きさを表しています。

目次
メニュー
索引

目次
メニュー
索引

ビデオ表示方向

ビデオの表示方向を、「縦」、「横（右手用）」、または「横（左手用）」の3方向から選べます。表示方向にあわせて、対応する5方向ボタンも切り換わります。

1 ホームメニュー→（各種設定）→「ビデオ設定」→「ビデオ表示方向」→希望の表示方向の種類を選ぶ。

種類	説明
縦	240 × 180ピクセルで表示されます。（お買い上げ時の設定） 4:3の画像　16:9の画像
「横（右手用）」 「横（左手用）」	320 × 240ピクセルで表示されます。 4:3の画像　16:9の画像

ヒント

- 「画面表示」を「オン」に設定している場合（☞64ページ）、ビデオの再生状態を示すアイコン、再生経過時間などの詳細情報が表示されます。「オフ」に設定すると詳細情報を消して再生できます。

ご注意

- 「ビデオ表示方向」を「横（右手用）」または「横（左手用）」に設定している場合、ビデオのタイトル名は表示されません。

目次
メニュー
索引

画面表示

ビデオ再生中に、ビデオのタイトル、再生状態を示すアイコン、再生経過時間などの情報を表示したり非表示にしたりできます。

1 ホームメニュー➡（各種設定）➡「ビデオ設定」➡「画面表示」➡希望の種類を選ぶ。

種類	説明
オン	ビデオのタイトルや再生状態、経過時間などが表示されます。
オフ	操作時以外は、再生中のビデオの詳細情報が表示されません。（お買い上げ時の設定）

ご注意

- ビデオの表示方向を「横（右手用）」または「横（左手用）」に設定している場合（☞63ページ）、「画面表示」を「オン」に設定していてもビデオのタイトルは表示されません。

連続再生設定

本機に保存しているすべてのビデオを続けて再生できます。

1 ホームメニュー➡（各種設定）➡「ビデオ設定」➡「連続再生設定」➡希望の種類を選ぶ。

種類	説明
オン	本機に保存されているすべてのビデオを続けて再生します。
オフ	選んだ1つのビデオだけを再生します。（お買い上げ時の設定）

次のページにつづく⇩

目次
メニュー
索引

ヒント

- 「オフ」に設定した場合、本機に保存されている各ビデオの再生位置が記録され、次回再生時に続きから再生できます。
- 「連続再生設定」を設定すると、ビデオの一覧順に続けて再生されます。
- ポッドキャストのビデオは連続再生することはできません。

ビデオ一覧表示形式

ビデオ一覧の表示形式を「タイトル名のみ」、「サムネイル[*1]あり」または「サムネイルのみ」の3通りの表示形式から選べます。

1 ホームメニュー ➡ （各種設定）➡「ビデオ設定」➡「ビデオ一覧表示形式」➡ 希望の表示形式の種類を選ぶ。

種類	説明
タイトル名のみ	ビデオのタイトルのみ表示されます。
サムネイルあり	サムネイルとビデオのタイトル、再生時間が表示されます。（お買い上げ時の設定）
サムネイルのみ	サムネイルのみが表示されます。

[*1] サムネイルとは、ビデオのワンシーンの縮小表示のことです。

ヒント

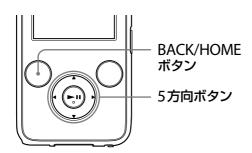
- Windowsのエクスプローラを使って転送するビデオファイルにサムネイルを付けることができます（☞ 22ページ）。

ご注意

- ファイル形式によっては、サムネイルが表示されないことがあります。

画面オフ設定

ビデオ再生中にHOLD（ホールド）状態にしたとき、通常どおりビデオ再生したり、画面をオフにしてビデオの音声だけを楽しむことができます。画面をオフにすれば、消費電力を抑え、電池を長持ちさせることができます。

1. **ホームメニュー → （各種設定）→「ビデオ設定」→「画面オフ設定」→ 希望の種類を選ぶ。**

種類	説明
常時画面オン	HOLD状態にするとボタン操作は無効になり、通常どおりビデオ再生を楽しめます。（お買い上げ時の設定）
HOLD時画面オフ	HOLD状態にするとボタン操作は無効になり、画面が消えビデオの音声だけを楽しむことができます。

目次
メニュー
索引

目次
メニュー
索引

ポッドキャストを再生する (ポッドキャストライブラリ)

ポッドキャストを再生するには◎(ポッドキャストライブラリ)を選びます。

ヒント
- ポッドキャストとは、インターネットから音楽、音声、ビデオなどの形式で配信されるRSSコンテンツです。ポッドキャストを配信しているサイトに登録をすると、お気に入りの音楽や番組やビデオなどを定期購読するような感覚でダウンロードして楽しめます。

ポッドキャストを再生する

1. **ホームメニュー→◎(ポッドキャストライブラリ)→希望のポッドキャスト→希望のエピソードを選ぶ。**

ヒント
- ポッドキャストライブラリで、一度も再生していないポッドキャストのエピソードには NEW アイコンが付いて表示されます。

ご注意
- ポッドキャストのエピソードはミュージックライブラリまたはビデオライブラリからは再生できません。ポッドキャストライブラリのメニューからのみ再生できます。
- ポッドキャストライブラリではフォトのエピソードには対応していません。
- ポッドキャストのビデオエピソードは「連続再生設定」(☞64ページ)が「オン」に設定されていても、連続再生はされません。よって、◀/▶ボタン(音楽)や▲/▼ボタン(ビデオ)で前/次のエピソードを選択しても、再生中のエピソードの先頭に戻ります。
- ポッドキャスト一覧で表示できるフォルダ数は最大1,000、ポッドキャストエピソード一覧で表示できるエピソードの数は最大10,000です。

目次
メニュー
索引

ポッドキャストのエピソードを削除する

ポッドキャストのエピソードは本機で削除することができます。

1. **ホームメニュー→（ポッドキャストライブラリ）→希望のポッドキャスト→希望のポッドキャストエピソードを選ぶ。**
2. **▲/▼/◀/▶ボタンで削除したいポッドキャストのエピソードを選び、OPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。**
3. **▲/▼/◀/▶ボタンで「このファイルを削除」を選び、▶IIボタンを押して決定する。**
4. **▲/▼/◀/▶ボタンで「はい」を選び、▶IIボタンを押して決定する。**
   ポッドキャストのエピソードが削除されます。

ヒント

- ポッドキャストを削除したい場合は、ポッドキャストの一覧でOPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示し、メニューから「このフォルダを削除」を選びます。
- ポッドキャストの再生中画面からOPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示し、メニューから「このファイルを削除」を選んでもポッドキャストのエピソードを削除できます。

目次
メニュー
索引

ポッドキャストのオプションメニューを使う

ポッドキャストの一覧画面やエピソード一覧画面、ポッドキャスト再生画面でOPTION/PWR OFFボタンを押すと、ポッドキャストのオプションメニューを表示できます。オプションメニューの使いかたは☞14ページをご覧ください。
オプションメニューからポッドキャストの各種設定などができます。
なお、画面によってオプションメニューで表示される項目が異なります。

ポッドキャストのリスト画面で表示される項目

項目	説明 / 参照ページ
再生画面へ	再生画面が表示されます。
このフォルダを削除	ポッドキャストを削除します（☞68ページ）。

ポッドキャストエピソード一覧画面で表示される項目

項目	説明 / 参照ページ
再生画面へ	再生画面が表示されます。
詳細情報	曲やビデオの再生時間、ファイル形式、ビットレートなどが表示されます。
このファイルを削除	ポッドキャストのエピソードを削除します（☞68ページ）。
このフォルダを削除	ポッドキャストを削除します（☞68ページ）。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ポッドキャストの音楽再生画面で表示される項目

項目	説明 / 参照ページ
イコライザ	音質を設定します（☞ 46ページ）。
VPT（サラウンド）	VPT（サラウンド）を設定します（☞ 48ページ）。
ジャケット写真	ジャケット写真が表示されます。
詳細情報	曲の再生時間、音楽ファイル形式、ビットレートなどが表示されます。
このファイルを削除	ポッドキャストのエピソードを削除します（☞ 68ページ）。
時計表示	現在時刻を表示します（☞ 109ページ）。

ポッドキャストのビデオ再生画面で表示される項目

項目	説明 / 参照ページ
頭出し再生	ビデオをはじめから再生します。
ズーム設定	ズームを設定します（☞ 61ページ）。
ビデオ表示方向	ビデオを表示する方向を設定します（☞ 63ページ）。
画面表示	画面に情報を表示する／しないの設定をします（☞ 64ページ）。
詳細情報	ビデオのファイルサイズ、解像度、ビデオ/オーディオファイルの圧縮形式、ファイル名などが表示されます。
このファイルを削除	ポッドキャストのエピソードを削除します（☞ 68ページ）。
輝度設定	画面の明るさを設定します（☞ 108ページ）。
時計表示	現在時刻を表示します（☞ 109ページ）。
音楽再生画面へ	最後に再生した曲の再生を始めます。

写真を見る（フォトライブラリ）

写真を再生するには、（フォトライブラリ）を選びます。

写真を表示する

1 ホームメニュー → （フォトライブラリ）→ 希望の写真フォルダー一覧 → 希望の写真を選ぶ。

- 再生画面で◀/▶ボタンを押すと、前後の写真が表示されます。

ヒント

- 写真の再生画面や、写真フォルダー一覧または写真一覧で写真を検索中でも、曲の再生やFMラジオ放送の受信は継続します。
- 選んだ写真フォルダ内の写真を続けて再生できます（スライドショー再生）（☞ 73ページ）。
- 本機に転送した写真をフォルダごとに整理できます。Windowsのエクスプローラで本機[WALKMAN]を選び、「PICTURE」フォルダのいずれかに写真の入ったフォルダをコピーします。
  写真の転送方法および認識できるデータ階層については☞ 23ページをご覧ください。

ご注意

- 写真フォルダー一覧で表示できるフォルダ数は1,000個、写真一覧で表示できる写真の枚数はすべてのフォルダ内の写真の合計で、最大10,000枚です。
- 写真のサイズが大きすぎる場合、またはデータが破損している場合は が表示され、再生できません。
- DCF 2.0に準拠していない場合（フォルダ名やファイル名が長い場合など）は、写真の表示やスライドショー再生に時間がかかることがあります。

目次
メニュー
索引

写真再生画面

情報表示エリア

再生画面での操作

操作ボタン	説明
►II	スライドショー再生（► 表示）/スライドショー再生一時停止 *1（II 表示）
◄/►*2	前の写真の表示/次の写真の表示

*1 音楽を再生しながらスライドショーを一時停止した状態で、「待ち時間」（☞ 107ページ）で設定した時間以上操作がない場合、画面が暗くなります。音楽もスライドショーも一時停止した状態で3分以上操作がないと、画面表示が消え再生待機状態になります。

*2 画面表示方向を横にすると、▲/▼ボタンと◄/►ボタンの働きが入れ換わります。

情報表示エリアの表示

表示	意味
►、II、	再生状態
	電池残量（☞ 17ページ）

目次
メニュー
索引

リスト画面

リスト画面での操作

操作ボタン	説明
►II	選んだ項目の決定 • 押したままにすると、選んだ項目のすべての写真をスライドショー再生します。
▲/▼	カーソルの上下移動 • 押したままにすると、速くスクロールします。
◄/►	リストの前/次のページを表示

スライドショー再生する

選んだ写真フォルダ内の写真をスライドショーで見られます。

1 ホームメニュー➡（フォトライブラリ）➡希望の写真フォルダ一覧を選ぶ。

2 ►IIボタンをスライドショーが始まるまで押したままにする。

スライドショーの再生が始まり、写真の一覧順に再生されます。

ヒント

- スライドショーの再生は、以下の操作でも始められます。
  - –写真一覧で►IIボタンを押したままにする。
  - –写真の再生画面で►IIボタンを押す。
  - –写真フォルダ一覧または写真一覧でOPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「スライドショーの開始」を選ぶ。
- 音楽の再生中やFMラジオ放送の受信中にスライドショーを始めると、音楽やFMラジオ放送を聞きながらスライドショーを楽しめます。

ご注意

- スライドショー再生中は、スクリーンセーバーの設定（☞ 107ページ）によって自動的に画面表示が消えたりスクリーンセーバーに切り換わることはありません。

目次
メニュー
索引

写真を削除する

本機に転送した写真を削除するときは、Media Manager for WALKMANを使用するか、Windowsのエクスプローラを使います。
Media Manager for WALKMANを使って写真を本機に転送した場合は、Media Manager for WALKMANを使って削除してください。
詳しくは、Media Manager for WALKMANのヘルプをご覧ください。

ご注意

- 本機に転送後、Windowsのエクスプローラでファイル名を変更した場合、Media Manager for WALKMANでは削除できません。Windowsのエクスプローラを使って削除してください。

フォトのオプションメニューを使う

写真フォルダー一覧などのリスト画面（サムネイル画面を含む）や写真の再生画面でOPTION/PWR OFFボタンを押すと、フォトのオプションメニューを表示できます。オプションメニューの使いかたは☞14ページをご覧ください。

画面によってオプションメニューに表示される項目は異なります。各項目の設定値や使いかたは参照ページをご覧ください。

リスト画面でのみ表示される項目

項目	説明 / 参照ページ
再生画面へ	再生画面が表示されます。
録音画面へ	録音画面が表示されます（☞91ページ）。
FMラジオ画面へ	FMラジオ放送の再生画面が表示されます（☞80ページ）。
スライドショーの開始	スライドショー再生を始めます（☞73ページ）。
写真一覧表示形式	写真一覧の表示形式を設定します（☞79ページ）。
最近見た写真	最後に見た写真を再生します。

再生画面で表示される項目

項目	説明 / 参照ページ
写真表示方向	写真を表示する方向を設定します（☞76ページ）。
画面表示	画面に情報を表示する／しないの設定をします（☞77ページ）。
詳細情報	写真のファイルサイズ、解像度、ファイル名などのファイル情報を表示します。
この写真を壁紙にする	現在表示中の写真を壁紙に設定します（☞106ページ）。
スライドショーリピート	スライドショーの再生方法を設定します（☞78ページ）。
スライドショー間隔設定	スライドショーの間隔を設定します（☞78ページ）。
輝度設定	画面の明るさを設定します（☞108ページ）。
時計表示	現在時刻を表示します（☞109ページ）。
音楽再生画面へ	最後に再生した曲の再生を始めます。

目次
メニュー
索引

写真の設定を変更する

写真の設定を変更するには、（各種設定）の「フォト設定」を選びます。

1 ホームメニュー→（各種設定）→「フォト設定」→希望の設定を選ぶ。

- 各写真設定項目については、☞ 76 〜 79ページをご覧ください。

写真表示方向

写真の表示方向を、「縦」、「横（右手用）」、または「横（左手用）」の3方向から選べます。表示方向にあわせて、対応する5方向ボタンも切り換わります（☞ 15ページ）。

1 ホームメニュー→（各種設定）→「フォト設定」→「写真表示方向」→希望の表示方向の種類を選ぶ。

種類	説明
縦	240 × 180ピクセルで表示されます。（お買い上げ時の設定） フォト 101-1000 2008/03/01 12:12PM 4/15
横（右手用） 横（左手用）	320 × 240ピクセルで表示されます。 2008/03/01 12:12PM 4

目次
メニュー
索引

画面表示

写真を表示中に、画面に再生状態を示すアイコンなどを表示したり、非表示にしたりできます。

1 ホームメニュー→ (各種設定)→「フォト設定」→「画面表示」→希望の種類を選ぶ。

種類	説明
オン	写真のタイトル、撮影日時、再生状態、表示中の写真番号などが表示されます。
オフ	表示中の写真の情報は表示されません。(お買い上げ時の設定)

ご注意

- 写真の表示方向を「横（右手用）」または「横（左手用）」に設定している場合（☞ 76 ページ）、「画面表示」を「オン」に設定していても写真のタイトルは表示されません。

目次
メニュー
索引

スライドショーリピート

スライドショーを繰り返し再生できます。

1 ホームメニュー→ （各種設定）→「フォト設定」→「スライドショーリピート」→希望の種類を選ぶ。

種類	説明
オン	写真フォルダの最後の写真を表示後、最初の写真からスライドショー再生を継続します。
オフ	写真フォルダの最後の写真を表示後、最初の写真に戻り再生を一時停止します。（お買い上げ時の設定）

ご注意

- スライドショー再生中は、スクリーンセーバーの設定（☞ 107ページ）によって自動的に画面表示が消えたりスクリーンセーバーに切り換わることはありません。

スライドショー間隔設定

スライドショーで次の写真を表示するまでの間隔を設定できます。

1 ホームメニュー→ （各種設定）→「フォト設定」→「スライドショー間隔設定」→希望の間隔の種類を選ぶ。

種類	説明
短い	短い間隔でスライドショー再生します。
標準	標準の間隔でスライドショー再生します。（お買い上げ時の設定）
長い	長い間隔でスライドショー再生します。

ご注意

- 写真のサイズが大きい場合、切り換わりに時間がかかることがあります。

目次
メニュー
索引

写真一覧表示形式

写真一覧の表示形式を「タイトル名のみ」、「サムネイル*[1]あり」または「サムネイルのみ」の3通りの表示形式から選べます。

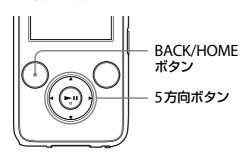
1 ホームメニュー → （各種設定）→「フォト設定」→「写真一覧表示形式」→ 希望の表示形式の種類を選ぶ。

種類	説明
タイトル名のみ	タイトルのみ表示されます。
サムネイルあり	サムネイルとタイトルが表示されます。
サムネイルのみ	サムネイルのみが表示されます。（お買い上げ時の設定）

*[1] サムネイルとは、写真の縮小表示のことです。

ご注意

- ファイル形式によっては、サムネイルが表示されないことがあります。

目次
メニュー
索引

FMラジオ放送を楽しむ

FMラジオ放送を聞くには、（FMラジオ）を選びます。
本機のFMラジオでは、FMラジオ放送とテレビ放送*（1 ～ 3チャンネル）を楽しめます。

* 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

ご注意

- 本機のWM-PORT接続時に、ヘッドホンジャックが塞がれるアクセサリーをご利用の場合は、WM-PORTを使用中にFMラジオ放送を聞くことはできません。
- ヘッドホンのコードがアンテナとして働くため、コードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。

1 ホームメニュー→（FMラジオ）を選ぶ。

FMラジオ画面が表示されます。

2 希望の周波数を選ぶ。

次のページにつづく

目次
メニュー
索引

FMラジオ画面での操作

ボタン	説明
▲/▼	受信周波数を上げる/下げる 押したままにする：受信できる放送局（次/前）を探す*[1]
◀/▶	登録されている前/次のプリセット番号を選ぶ*[2]
▶II	音声を一時的に消す ● 約3分後に再生待機状態になり、画面表示が消えます。再び▶II ボタンを押すと、FMラジオ放送の音声が出るようになります。

*[1] 普通の電波状態で受信感度が強すぎるときは、スキャン感度の設定（☞ 84ページ）を「低」に設定してください。

*[2] 放送局を登録していない場合は、プリセット番号を選ぶことができません。「オートプリセット」を実行し、受信できる放送局をプリセット登録してください（☞ 82ページ）。

目次
メニュー
索引

自動で放送局を登録する（オートプリセット）

「オートプリセット」を実行すると、お使いの地域で受信できる放送局を自動的に探してプリセット登録できます（最大30局まで）。はじめてFMラジオをお使いになるときや、お使いになる地域が変わったときは、「オートプリセット」を実行し、受信できる放送局をプリセット登録しておくことをお勧めします。

1 FMラジオ放送受信中にOPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。

2 ▲/▼/◀/▶ボタンで「オートプリセット」を選び、▶II ボタンを押して決定する。

3 ▲/▼/◀/▶ボタンで「はい」を選び、▶II ボタンを押して決定する。

受信できる低い周波数の放送局から順番にプリセット登録されます。

- 登録が終了すると「オートプリセットを完了しました。」と表示され、最初に登録された放送局を受信します。
- 自動で放送局を登録するのをやめるには「いいえ」を選び、▶II ボタンを押して決定します。

ヒント

- 普通の電波状態で受信感度が強すぎ多くの不要な放送局を受信してしまうときは、スキャン感度の設定（☞ 84ページ）を「低」に設定してください。

ご注意

- 「オートプリセット」を実行すると、それまで登録されていたプリセットはすべて消去されます。

目次
メニュー
索引

手動で放送局を登録する

「オートプリセット」(☞ 82ページ)で登録できなかった放送局を、必要に応じてプリセット登録できます。

1 FMラジオ画面で▲/▼ボタンを押して登録したい周波数を選ぶ。

2 ▶IIボタンを押したままにする。
手順1で選んだ周波数がプリセット登録され、周波数の下部にプリセット番号が表示されます。

ヒント

- プリセットには、最大30局まで登録できます。

ご注意

- プリセット番号は、低い周波数から順番に並べ変えられます。
- 登録しようとした周波数がすでにプリセット登録されている場合、「既にプリセットに登録されています。」と表示され、再登録できません。

登録した放送局を解除する

1 FMラジオ画面で◀/▶ボタンを押して解除したい周波数のプリセット番号を選ぶ。

2 OPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。

3 ▲/▼/◀/▶ボタンで「プリセットを解除」を選び、▶IIボタンを押して決定する。
プリセットの解除が終了すると、メッセージが表示されます。

目次
メニュー
索引

FMラジオ放送の設定を変更する

FMラジオ放送の設定を変更するには、（各種設定）を選びます。

受信感度を変更する（スキャン感度）

「オートプリセット」（☞82ページ）や▲/▼ボタンで放送局を探すときに、受信感度が強すぎ多くの不要な放送局を受信してしまう場合があります。このようなときは、スキャン感度を「低」に設定してください。お買い上げ時は、「高」に設定されています。

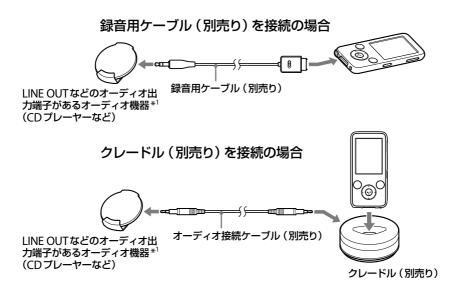
1. **ホームメニュー➡（各種設定）➡「FMラジオ設定」➡「スキャン感度」➡「低」を選ぶ。**
   - スキャン感度を元に戻すには「高」を選びます。

モノラル/ステレオを切り換える（モノラル/オート）

FMラジオ放送を受信中に雑音が多いときは、「モノラル/オート」の設定を「モノラル」にしてください。「オート」に設定してある場合は、受信感度は受信時の状態によって自動設定されます。お買い上げ時の設定は「オート」になっています。

1. **ホームメニュー➡（各種設定）➡「FMラジオ設定」➡「モノラル/オート」➡「モノラル」を選ぶ。**
   - 自動設定に戻すには「オート」を選びます。

目次
メニュー
索引

FMラジオ放送のオプションメニューを使う

FMラジオ画面を表示中にOPTION/PWR OFFボタンを押すと、FMラジオ放送のオプションメニューを表示できます。オプションメニューの使いかたは☞14ページをご覧ください。

項目	説明 / 参照ページ
プリセットに登録	受信中の周波数をプリセット登録します（☞83ページ）。
プリセットを解除*1	プリセット登録した放送局を解除します（☞83ページ）。
オートプリセット	自動で放送局をプリセット登録します（☞82ページ）。
スキャン感度	スキャン中の受信感度を設定します（☞84ページ）。
モノラル/オート	モノラル/オートを切り換えます（☞84ページ）。
時計表示	現在時刻を表示します（☞109ページ）。
音楽再生画面へ	最後に再生した曲の再生を始めます。

*1 プリセット登録されていないときは、表示されません。

目次
メニュー
索引

パソコンを使わずに録音する（ダイレクトエンコーディング）

本機とオーディオ機器を、別売りのアクセサリーを使って接続すると、パソコンを介さずに本機でCDなどから曲を録音することができます。録音する前に本機を充分に充電してください。

*1　LINE OUT端子がないオーディオ機器の場合は、ヘッドホン端子に接続してください。

ヒント

- 本機での録音に対応した別売りアクセサリーには、録音用ケーブル（WMC-NWR1）やクレードル（BCR-NWU5）などがあります。
- 日付と時刻が合っていないとフォルダ名や曲名が正しい日付と時刻になりません。録音をする前に日付と時刻が正しく設定されているかご確認ください（☞ 108ページ）。

本機で録音した曲の管理について

本機で録音した曲はパソコンから転送した曲とは別に保存・管理されます。転送した曲はミュージックライブラリ内に入り、録音した曲は録音フォルダに入ります。そのため、シャッフル再生などをしても、ミュージックライブラリ内の曲（おまかせチャンネルを含む）と録音した曲が混ざって再生されることはありません。

目次
メニュー
索引

シンクロ録音する

録音元のオーディオ機器で再生を始めると、本機が自動的に音を検出して録音を開始します。

1 別売りのアクセサリーを使って、本機とオーディオ機器を接続する（☞ 86ページ）。

- 詳しくは、別売りのアクセサリーの取扱説明書をご覧ください。

2 ホームメニュー ➡ （録音）➡「シンクロ録音」を選ぶ。

3 「シンクロ開始」が表示されていることを確認して、▶II ボタンを押して決定する。

4 オーディオ機器で、録音したいCDなどを再生する。

- 音を検出すると、新しいフォルダが作成され自動的に録音が開始されます。2秒以上無音 *1 が続くと、自動的に録音が一時停止状態になります。*2 再び音を検知すると、同じフォルダに新しい曲名で録音が開始されます。

*1 無音とは本機では約4.8 mV以下の入力レベルです。

*2 5分間無音が続くと、自動的にシンクロ録音が終了されます。

ヒント

- 録音を止めるには、画面に「停止」が表示されていることを確認して、▶II ボタンを押します。次に録音するときは新しいフォルダが作成されます。
- 録音元の音量が小さい状態が続くと録音が開始されなかったり、1曲が複数曲として録音されることがあります。録音元の音量を上げて録音してください。
- 録音元の曲間が2秒以上ない場合は同じ曲として録音されることがあります。その場合はマニュアル録音（☞ 88ページ）をお試しください。

目次
メニュー
索引

マニュアル録音する

録音の開始や停止のタイミングを任意に指定できます。

1. **別売りのアクセサリーを使って、本機とオーディオ機器を接続する（☞86ページ）。**
   - 詳しくは、別売りのアクセサリーの取扱説明書をご覧ください。

2. **ホームメニュー → （録音）→「マニュアル録音」を選ぶ。**

3. **オーディオ機器で、録音したいCDなどを再生する。**

4. **「録音開始」が表示されていることを確認して、▶II ボタンを押して決定する。**

   録音が開始されます。

マニュアル録音
フォルダ名
曲名
現在の曲の録音時間 00:00
残り録音可能時間 -279:12:32
録音開始
新規フォルダ
コーデック/ビットレート ATRAC 128kbps

ヒント

- 録音を止めるには、画面に「停止」が表示されていることを確認して、▶II ボタンを押します。
- 新しいフォルダに録音するには、録音停止中に本機の▲/▼ボタンで「新規フォルダ」を選び、▶II ボタンを押して決定します。次の曲から新しいフォルダに録音されます。

目次
メニュー
索引

録音した曲をSonicStageに取り込む

本機で録音した曲は、SonicStage のマイライブラリに取り込み、インターネットからアルバム名や曲名などの情報も取得できます。マイライブラリに取り込んだ曲を本機に転送すると、他の転送した曲と同様にミュージックライブラリから再生できます。

1 本機をパソコンに接続する。

SonicStageが起動し、音楽を転送する画面に切り換わります。

- 本機を接続したときにSonicStageが自動起動する設定にしていない場合は、SonicStageを起動してください。
  本機で録音した曲は、パソコンに接続しても、画面右側の一覧には表示されません。

2 SonicStageの画面右側の一番下にある［取り込み］ボタンをクリックする。

「曲の取り込み」画面が表示されます。

3 ［開始］ボタンをクリックする。

マイライブラリへの曲の取り込みが始まります。

ヒント

- インターネットに接続しておくと、［ツール］メニューの［設定］からCD情報（曲名やアーティスト名など）を自動で取得できるように設定できます。自動取得できなかった場合は、取り込んだアルバムまたは曲を選択し、右クリックして［CD情報取得］を選ぶと情報を取得できます。
  詳しくは、SonicStage のヘルプをご覧ください。

目次
メニュー
索引

本機で録音するときのヒントとご注意

録音モニターについて

- 本機のヘッドホンで録音元の音が確認（録音モニター）できます。
- 本機のVOL＋/－ボタンで録音モニター音の音量の調整ができます。ただし、音量の調整をしても録音レベルは変わりません。
- 録音モニター時に音量以外の音の効果の設定などはできません。

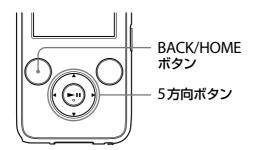
録音した曲の曲名について

- 本機で録音した曲はすべてフォルダに格納されます。フォルダ名や曲名は以下のとおりになります。
  - フォルダ名：「yyyy-mm-dd」（西暦４桁-月２桁-日２桁*[1]）
    *[1] 同日の場合、-dd（2）、-dd（3）…となります。
  - 曲名：「NNN-hhmm」（通し番号-時分）

本機の日時をあらかじめ正しく設定しておくことをおすすめします（☞ 108ページ）。

- 本機上では録音した曲名やフォルダ名を変更することはできません。曲名を変更したい場合にはSonicStageに取り込んで編集してください（☞ 89ページ）。

録音レベルとビットレートについて

- 録音元のオーディオ機器のオーディオ出力レベルによっては、適切な録音レベルで録音できずに音が割れたり、小さかったりする場合があります。
  録音レベル切り換えスイッチがあるアクセサリーの場合は、スイッチを切り換えることにより、適切な録音レベルにすることができる場合があります。また、録音元のオーディオ機器のオーディオ出力レベルを調整できる場合は、オーディオ機器の音量を調整してください。
  詳しくは、本機での録音に対応した別売りのアクセサリーの取扱説明書をご覧ください。
- 録音する曲のビットレートを設定できます（☞ 97ページ）。

制限事項について

- 1つの曲として、録音できる時間は1,000分、容量は2 GBまでです。録音時間が1,000分または容量が2 GBを超える場合は自動的に録音が停止します。
- 本機にパソコンを使わずに直接録音できる曲の最大数は4,000曲です。1つのフォルダに録音できる最大曲数は255曲、フォルダの最大数は255個です。
- 本機の空き容量が少ないときは録音できません。

目次
メニュー
索引

録音した曲を再生する

本機で録音した曲を再生するには、（録音）を選びます。

ご注意

- 本機で録音した曲はパソコンから転送した曲とは別に保存・管理されます（☞ 86ページ）。

1 ホームメニュー → （録音）→「録音した曲」を選ぶ。

フォルダー一覧が表示されます。

2 ▲/▼/◀/▶ボタンでフォルダを選び、▶IIボタンを押して決定する。

選んだフォルダ内の曲一覧が表示されます。

3 ▲/▼/◀/▶ボタンで曲を選び、▶IIボタンを押して決定する。

再生画面が表示され、選んだ曲から順に再生します。

- ◀/▶ボタンを押すと、前の曲や再生中の曲、次の曲の頭出しをします。押したままにすると、早戻しや早送りをします。
  再生を一時停止するには、▶IIボタンを押します。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

録音した曲の再生でできること

本機で録音した曲はパソコンから転送した曲とは別に保存・管理されます。転送した曲はミュージックライブラリ内へ、録音した曲は録音フォルダに入ります。そのため、シャッフル再生などをしても、ミュージックライブラリ内の曲と録音した曲が混ざって再生されることはありません。また、録音した曲の再生時に有効となるのは以下の設定および操作になります。

- プレイモードの変更（☞ 44ページ）
- 音質効果（「イコライザ」（☞ 46ページ）、「VPT（サラウンド）」（☞ 48ページ）、「DSEE（高音域補完）」（☞ 49ページ）、「クリアステレオ」（☞ 50ページ）、「ダイナミックノーマライザ」（☞ 50ページ））の変更
- 再生範囲の変更（☞ 45ページ）

ご注意

- 録音した曲は、ミュージックライブラリでの再生（☞ 24ページ）、おまかせチャンネルでの再生（☞ 32ページ）、インテリジェントシャッフル再生（☞ 31ページ）およびブックマークリストへの登録（☞ 42ページ）、曲の評価（☞ 41ページ）ができません。

目次
メニュー
索引

録音した曲を削除する

本機で録音した曲を削除できます。パソコンから転送した曲（ミュージックライブラリ内の曲）を削除する場合は、☞36ページをご覧ください。

ご注意

- 本機で録音した曲を削除した場合、曲の復活はできません。削除する前に充分に確認してください。
- ミュージックライブラリ内の曲や録音した曲を再生しているときは、再生を一時停止してから操作を行ってください。

録音した曲を1曲だけ削除する

1. **ホームメニュー→（録音）→「録音した曲」→希望のフォルダの曲を選ぶ。**

2. **曲一覧画面で削除したい曲を選び、OPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。**

3. **▲/▼/◀/▶ボタンで「この曲を削除」を選び、▶II ボタンを押して決定する。**
   削除を確認するメッセージが表示されます。

4. **▲/▼/◀/▶ボタンで「はい」を選び、▶II ボタンを押して決定する。**
   選択した曲が削除されると「削除しました。」と表示されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ヒント

- 曲を削除するのをやめるには、手順 4 で「いいえ」を選び、▶II ボタンを押します。
- 録音した曲の再生画面からも録音した曲を削除することができます。OPTION/PWR OFF ボタンを押し、オプションメニューから「この曲を削除」を選びます。ただし、再生中は削除できません。再生を一時停止してから削除の操作を行ってください。

ご注意

- フォルダ内の曲を全て削除した場合、そのフォルダは自動的に削除されます。

録音したフォルダを削除する

❶ ホームメニュー ➡ （録音）➡「録音した曲」を選ぶ。

❷ フォルダ一覧画面で削除したいフォルダを選び、OPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。

❸ ▲/▼/◀/▶ボタンで「このフォルダを削除」を選び、▶IIボタンを押して決定する。

削除を確認するメッセージが表示されます。

- 録音したすべての曲を削除する場合は「全フォルダを削除」を選びます。

❹ ▲/▼/◀/▶ボタンで「はい」を選び、▶IIボタンを押して決定する。

選択したフォルダが削除されると「削除しました。」と表示されます。

ヒント

- フォルダを削除するのをやめるには、手順❹で「いいえ」を選び、▶IIボタンを押します。

ご注意

- 削除する曲が多い場合は、削除が完了するまでに時間がかかる場合があります。
- ミュージックライブラリ内の曲や録音した曲の再生中には、録音した曲の削除はできません。

目次
メニュー
索引

録音のオプションメニューを使う

曲一覧などのリスト画面や録音した曲の再生画面、録音画面でOPTION/PWR OFFボタンを押すと、録音のオプションメニューを表示できます。オプションメニューの使いかたは☞14ページをご覧ください。
画面によってオプションメニューで表示される項目が異なります。各項目の設定値や使いかたは参照ページをご覧ください。

リスト画面でのみ表示される項目

項目	説明 / 参照ページ
再生画面へ	再生画面が表示されます。
録音画面へ	録音画面が表示されます（☞91ページ）。
FMラジオ画面へ	FMラジオ放送の再生画面が表示されます（☞80ページ）。
これを再生	選んだ項目の再生を始めます。
このフォルダを削除	選んだフォルダを本機から削除します（☞95ページ）。
全フォルダを削除	すべてのフォルダと、フォルダ内のすべての曲を本機から削除します（☞95ページ）。

録音した曲の再生画面で表示される項目

項目	説明 / 参照ページ
プレイモード	録音した曲の再生方法を設定します（☞44ページ）。
再生範囲設定	再生範囲を設定します（☞45ページ）。
イコライザ	音質を設定します（☞46ページ）。
VPT（サラウンド）	VPT（サラウンド）を設定します（☞48ページ）。
詳細情報	曲の詳細情報が表示されます。
この曲を削除	曲を本機から削除します（☞93ページ）。
時計表示	現在時刻を表示します（☞109ページ）。

録音画面で表示される項目

項目	説明 / 参照ページ
ビットレート設定	録音する曲のビットレートを設定します（☞97ページ）。
音楽再生画面へ	最後に再生した曲の再生を始めます。

目次
メニュー
索引

録音の設定を変更する

録音する曲のビットレートを設定する

録音する曲のビットレートを設定することができます。

1 ホームメニュー ➡ （各種設定）➡「録音設定」➡「ビットレート設定」➡ 希望のビットレートの種類を選ぶ。

種類	説明
ATRAC 256kbps	ATRAC 256 kbpsで録音されます。
ATRAC 128kbps	ATRAC 128 kbpsで録音されます。（お買い上げ時の設定）
ATRAC 64kbps	ATRAC 64 kbpsで録音されます。
PCM 1411kbps	リニアPCM 1,411 kbpsで録音されます。

ヒント

- 録音画面からもビットレートを変更できます。OPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「ビットレート設定」を選びます。
ただし、録音実行中はオプションメニューは操作できません。

目次
メニュー
索引

周囲の騒音を低減させる(ノイズキャンセリング)(NW-S736F/S738F/S739Fのみ)

ヘッドホンに内蔵したマイクが周囲の騒音を拾い、逆位相の音を出力することで周囲の騒音を低減します。

NOISE CANCELINGスイッチ

ご注意

- NOISE CANCELINGスイッチをオンにしても、付属のヘッドホン以外を使っているときはノイズキャンセリング機能は働きません。

1 NOISE CANCELINGスイッチを矢印の方向▶にスライドしてオンにする。

再生画面では画面右下に NC が表示されます。

ヒント

- NC は音楽再生画面(録音した曲を含む)、ポッドキャスト再生画面、FMラジオ画面、ビデオ再生画面で表示されます。
- ノイズキャンセリング機能が有効なときは、画面に NC が表示されます。
付属のヘッドホン以外を使っているときにはNOISE CANCELINGスイッチをオンにしても、ノイズキャンセリング機能は働きません。その場合、画面の右下には NC が表示されます。
- ノイズキャンセリング機能の効果を調整することができます。詳しくは、☞ 102ページをご覧ください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ご注意

- 付属のヘッドホンが正しく耳に装着されていないと、ノイズキャンセリング機能の効果が得られません。イヤーピースを交換したり、おさまりの良い位置にするなど、ぴったりと耳に装着させるようにしてください。

- ノイズキャンセリング機能は主に低い周波数帯域のノイズを打ち消すもので、高い周波数帯域のノイズに対しては効果はありません。また、すべての音が打ち消されるわけではありません。
- ヘッドホンのマイク部を手などで覆わないでください。ノイズキャンセリング機能の効果がなくなることがあります。

- ノイズキャンセリング機能をオンにすると、かすかにサーという音がしますが、ノイズキャンセリング機能の動作音で、故障ではありません。
- 静かな場所や、ノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング機能の効果が感じられない、またはノイズが大きくなると感じる場合があります。その場合は、NOISE CANCELINGスイッチをオフにしてください。
- 携帯電話の影響により、ノイズが入ることがあります。この場合は、携帯電話から本機を離してお使いください。
- ヘッドホンの本体からの抜き差しは、ヘッドホンを耳からはずして行ってください。音楽を再生した状態や、ノイズキャンセリング機能が働いたままでヘッドホンを抜き差しするとヘッドホンからノイズが発生しますが、故障ではありません。
- NOISE CANCELINGスイッチのオン・オフを切り換えるときに切り換え音が発生しますが、ノイズキャンセリング回路切り換えにより起こるものであり故障ではありません。

目次
メニュー
索引

外部入力の音声を聞く（外部入力）

ノイズキャンセリング機能を利用し、飛行機内のオーディオ機器などの外部機器の音声を聞くことができます。

1. **付属のヘッドホンを本機に接続し、NOISE CANCELLING スイッチを▶の方向にスライドさせてノイズキャンセリングをオンにする。**

2. **別売りの録音用ケーブル（WMC-NWR1）を本機のWM-PORTに接続し、オーディオ機器のヘッドホンジャックに接続する。**

3. **ホームメニュー ➡ （各種設定）➡「ノイズキャンセル設定」➡「外部入力/サイレント」を選ぶ。**

   オーディオ機器からの音声がノイズキャンセリング効果で再生されます。

ヒント

- 「外部入力」と「サイレント」（☞ 101ページ）は▶IIボタンを押して切り換えることができます。
- 録音用ケーブル（別売り）を本機からはずすと、自動的に「サイレント」（☞ 101ページ）に切り換わります。

ご注意

- 飛行機内のオーディオ機器と接続して使用する場合は、市販の「飛行機内用アダプタープラグ」が必要になる場合があります。すべての飛行機内のオーディオ機器と接続できるわけではありません。
- 「外部入力/サイレント」の使用中はスクリーンセーバーは有効になりません。しばらくすると画面表示が暗くなります。
- オーディオ機器に接続するときは、LINE OUT端子ではなく、ヘッドホンジャックに接続してください。

目次
メニュー
索引

音楽を再生しないで外部の音を低減する（サイレント）

音楽を再生しないときでもノイズキャンセリング効果を利用して、周囲の音を低減することができます。

1. **付属のヘッドホンを本機に接続し、NOISE CANCELLING スイッチを▶の方向にスライドさせてノイズキャンセリングをオンにする。**

2. **ホームメニュー→（各種設定）→「ノイズキャンセル設定」→「外部入力/サイレント」を選ぶ。**

ヒント

- WM-PORTに録音用ケーブル（別売り）からの音声入力がある場合は、「外部入力」となります。「外部入力」と「サイレント」は▶II ボタンを押して切り換えることができます。外部入力の状態で、接続している録音用ケーブル（別売り）をはずした場合も、「外部入力」から「サイレント」に切り換わります。

ご注意

- 「外部入力/サイレント」の使用中はスクリーンセーバーは有効になりません。しばらくすると画面表示が暗くなります。
- ノイズキャンセリング機能は主に低い周波数帯域のノイズを打ち消すもので、高い周波数帯域のノイズに対しては効果はありません。また、すべての音が打ち消されるわけではありません。

ノイズキャンセリング機能の効果を調整する（ノイズキャンセル調整）

本機は、ノイズキャンセリング機能（☞ 98ページ）の効果が最も得られるようにあらかじめ設定されていますが、耳の形状や使用環境によって、ヘッドホンに搭載されているマイクの感度を上げる（または下げる）ことで更に効果が得られる場合があります。
ノイズキャンセリング機能の効果が得にくいと感じるときはノイズキャンセル調整でマイクの感度を調整してください。

1. **ホームメニュー ➡ （各種設定）➡「ノイズキャンセル設定」➡「ノイズキャンセル調整」を選ぶ。**

2. **▲/▼/◀/▶ ボタンで希望の値を選び、▶II ボタンを押して決定する。**
   31段階の値で調節できます。スライダの中央の位置が最も効果が高い設定です。お好みで左右に調整してください。

ご注意

- ノイズキャンセル調整を行ってもNOISE CANCELINGスイッチがオンになっていないときは効果は得られません。
- お買い上げ時の設定（スライダの中央の位置）が最も効果が高い設定です。マイクの感度を最大にすればノイズキャンセリング機能の効果が高くなるわけではありません。

共通設定を変更する

本機の共通の設定を変更するには、(各種設定)の「共通設定」を選びます。

1 ホームメニュー → (各種設定) → 「共通設定」 → 希望の設定を選ぶ。

- 各設定項目については、☞ 104 ～ 111ページをご覧ください。

ご注意

- 数値の項目を決定したあとは、必ず▶II ボタンを押して決定してください。
  決定する前にBACK/HOME ボタンを押すと、設定がキャンセルされます。

目次
メニュー
索引

本体情報

本機の型名、ファームウェア（本体に組み込まれたソフトウェア）のバージョンなどを表示できます。

1 ホームメニュー→ （各種設定）→「共通設定」→「本体情報」を選ぶ。

表示	説明
型名：	本機の型名を表示します。
本体ソフトウェア：	ファームウェアのバージョンを表示します。
空き容量/総容量：	本機の空き容量と総容量を表示します。
総曲数：	本機に保存されている総曲数*[1]（録音した曲を含む）を表示します。
総ビデオファイル数：	本機に保存されている総ビデオファイル数*[1]を表示します。
総写真数：	本機に保存されている総写真数を表示します。
データベース：	本機のミュージックライブラリにおける動作モードを表示します。本機に音楽を転送した機器によりこのモードが変わり、ミュージックライブラリやインテリジェントシャッフルに表示される項目などが変化します。「Simple Mode」または「Advance Mode」があります。
WM-PORT：	WM-PORTのバージョンを表示します。

*[1]ポッドキャストライブラリ内のファイルは含みません。

AVLS（音量制限）

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞けます。

1 ホームメニュー→ （各種設定）→「共通設定」→「AVLS（音量制限）」→希望の種類を選ぶ。

種類	説明
オン	音量が一定のレベル以上、上がらなくなります。
オフ	音量制限を行いません。（お買い上げ時の設定）

目次
メニュー
索引

操作確認音

本機のピッという確認音を鳴らす設定を変更できます。

1. **ホームメニュー→（各種設定）→「共通設定」→「操作確認音」→希望の種類を選ぶ。**

種類	説明
オン	確認音が鳴ります。（お買い上げ時の設定）
オフ	確認音が鳴りません。

テーマ設定

画面のリスト表示のときやアイコン選択時の表示色をテーマを決めて変更できます。

1. **ホームメニュー→（各種設定）→「共通設定」→「テーマ設定」→希望の設定を選ぶ。**

種類	説明
テーマ1～10	本機に用意されている数種類のテーマから選べます。

ヒント

- 「壁紙設定」（☞ 106ページ）が「テーマにあわせる」に設定されている場合は、テーマに合わせて壁紙も変更されます。

目次
メニュー
索引

壁紙設定

壁紙を変更することができます。

1 ホームメニュー ➡ （各種設定）➡「共通設定」➡「壁紙設定」➡ 希望の種類を選ぶ。

種類	説明
テーマにあわせる	「テーマ設定」（☞ 105ページ）に合わせて壁紙が変更されます。（お買い上げ時の設定）
壁紙１～10	本機に用意されている数種類の壁紙から選べます。
ユーザー壁紙	自分でお好みの壁紙を設定できます（次項を参照）。
ユーザー壁紙（暗め）	自分でお好みの壁紙を設定できます（次項を参照）。写真を暗めに表示してメニューの文字を見やすくします。
壁紙なし	壁紙を表示しません。

お好みの写真を壁紙に設定するには

フォトライブラリの中のお好みの写真を壁紙として設定しておくと、壁紙設定で「ユーザー壁紙」または「ユーザー壁紙（暗め）」を選んだときに壁紙に設定できます。

1 ホームメニュー ➡ （フォトライブラリ）➡ 希望の写真フォルダ一覧 ➡ 希望の写真を選ぶ。

2 OPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。

3 ▲/▼/◀/▶ボタンで「この写真を壁紙にする」を選び、▶IIボタンを押して決定する。

ご注意

- 壁紙は各種設定画面など、一部の画面には表示されません。

目次
メニュー
索引

スクリーンセーバー設定

曲の再生中またはFMラジオ放送受信中に一定期間操作がないとスクリーンセーバーに切り換わります。スクリーンセーバーの種類を変更できます。

1 ホームメニュー→（各種設定）→「共通設定」→「スクリーンセーバー設定」→「種類」→希望の種類を選ぶ。

種類	説明
時計	一定時間操作がない場合に、スクリーンセーバーとして時計を画面に表示します。（お買い上げ時の設定）
画面オフ	一定時間操作がない場合に、画面表示を消します。
なし	スクリーンセーバーに切り換わりません。

ご注意

- ノイズキャンセリング機能の「外部入力/サイレント」の使用中はスクリーンセーバーは有効になりません。

スクリーンセーバーの時間を設定する

スクリーンセーバーに切り換わるまでの時間の設定を選べます。

1 ホームメニュー→（各種設定）→「共通設定」→「スクリーンセーバー設定」→「待ち時間」→希望の種類を選ぶ。

種類	説明
15秒	15秒でスクリーンセーバーに切り換わります。
30秒	30秒でスクリーンセーバーに切り換わります。（お買い上げ時の設定）
60秒	60秒でスクリーンセーバーに切り換わります。

ヒント

- タイトルなどの文字が横にスクロール表示されているときは、スクリーンセーバーには切り換わりません。

ご注意

- 「スクリーンセーバー設定」の「種類」が「なし」に設定されている場合、スクリーンセーバーの「待ち時間」は設定できません。

目次
メニュー
索引

輝度設定

表示画面の明るさを5段階で設定できます。

1 ホームメニュー → (各種設定) →「共通設定」→「輝度設定」→ 希望の種類を選ぶ。

種類	説明
1～5	数値が大きくなるほど明るくなります。お買い上げ時の設定は3です。

ご注意

- ►II ボタンを押して決定する前にBACK/HOMEボタンを押すと、設定がキャンセルされます。

ヒント

- 画面の明るさを暗くすることで、電池を長持ちさせることができます（☞ 112ページ）。

日付時刻設定

現在時刻を手動またはパソコンなどの接続機器の時刻に合せて設定できます。

1 ホームメニュー → (各種設定) →「共通設定」→「日付時刻設定」→ 希望の種類を選ぶ。

種類	説明
対応ソフト・機器と同期	SonicStageを起動させて、本機とパソコンを接続すると、本機の時刻がパソコンの時刻と同期して設定されます。（お買い上げ時の設定）
マニュアル設定	現在時刻を手動で設定します。詳しくは、「現在時刻を手動で設定する」（☞ 109ページ）をご覧ください。

ヒント

- 時計を表示させるには、ホームメニューや再生画面で、OPTION/PWR OFFボタンを押し、オプションメニューから「時計表示」を選びます。
- 時刻の表示形式は「12時間表示」または「24時間表示」から選択できます。詳しくは「時刻表示形式」（☞ 109ページ）をご覧ください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ご注意

- 本機を使用しないまま長期間放置するなど、本体の内蔵電池が放電しきると、設定した日時がリセットされ、「ー」で表示されます。
- 現在時刻は、1ヶ月で最大60秒の誤差を生じる場合があります。現在時刻の表示が正確ではない場合は、設定し直してください。
- おまかせチャンネル（☞ 32ページ）を使用する前に、本機の時計を合わせてください。

現在時刻を手動で設定する

1 ホームメニュー → （各種設定）→「共通設定」→「日付時刻設定」→「マニュアル設定」を選ぶ。

2 ◀/▶ボタンで年を選び、▲/▼ボタンで年の数字を選ぶ。

3 手順 2 で「年」を入力したのと同様に「月」、「日」、「時」、「分」の数字を入力し、▶II ボタンを押して決定する。

ご注意

- 「日付時刻設定」を「マニュアル設定」に設定した場合は、1か月で最大60秒の誤差が生じる場合があります。「対応ソフト・機器と同期」に設定して使用することをおすすめします。「マニュアル設定」に設定して時刻に誤差が生じた場合は、手動で時刻を修正してください。

時刻表示形式

現在時刻（☞ 108ページ）の表示形式を「12時間表示」または「24時間表示」から選べます。

1 ホームメニュー → （各種設定）→「共通設定」→「時刻表示形式」→ 希望の種類を選ぶ。

種類	説明
12時間表示	現在時刻の表示形式を12時間表示にします。（お買い上げ時の設定）
24時間表示	現在時刻の表示形式を24時間表示にします。

目次
メニュー
索引

設定初期化

各種設定メニューで設定した内容をお買い上げ時の状態に戻せます。
お買い上げ時の状態に戻しても、音楽、写真などのデータは削除されません。

ご注意

- この操作は、一時停止中にのみ実行できます。

1 ホームメニュー → （各種設定）→「共通設定」→「設定初期化」を選ぶ。

設定初期化を確認する画面が表示されます。

2 ▲/▼/◀/▶ボタンで「はい」を選び、▶II ボタンを押して決定する。

「設定を工場出荷時の状態に戻しました。」と表示されます。

- 初期化を止めるには「いいえ」を選びます。

目次
メニュー
索引

メモリー初期化

本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）できます。

ご注意

- 初期化すると、曲、ビデオ、写真のデータ（お買い上げ時にあらかじめインストールされているサンプルデータを含む（☞ 144ページ））などが消去されます。初期化する前に内容を確認し、必要なデータはSonicStageに取り込むか、パソコンのハードディスク内に保存してください。
- この操作は、一時停止中にのみ実行できます。
- Windowsのエクスプローラで内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）しないでください。誤ってWindowsのエクスプローラで初期化した場合は、本機で初期化し直してください。

1 ホームメニュー ➡ （各種設定）➡「共通設定」➡「メモリー初期化」を選ぶ。

「曲などのファイルを含んだ全てのデータが削除されます。実行しますか？」と表示されます。

2 ▲/▼/◀/▶ボタンで「はい」を選び、▶II ボタンを押して決定する。

「全てのデータを削除します。本当に実行しますか？」と表示されます。

- 初期化を止めるには「いいえ」を選びます。

3 ▲/▼/◀/▶ボタンで「はい」を選び、▶II ボタンを押して決定する。

メモリー初期化中は、アニメーションが表示されます。
初期化が終了すると「メモリーの初期化が完了しました。」と表示されます。

- 初期化を止めるには「いいえ」を選びます。

目次
メニュー
索引

電池を長持ちさせたいときは

本機の設定変更や電源管理を適切に行うことで、電池の使用量を節約し長時間使用できます。
ここでは、電池を長持ちさせる方法をご紹介します。

手動で電源を切る

OPTION/PWR OFFボタンを押したままにすると、画面表示が消えて再生待機状態になり、電池の消耗を抑えられます。
さらに、再生待機状態のまま最長で1日経過すると、自動的に電源が切れます。

電池を長持ちさせる設定

以下の設定にすると電池を長持ちさせることができます。

画面に関する設定	「輝度設定」（☞108ページ）	「1」
	「スクリーンセーバー設定」－「種類」（☞107ページ）	「画面オフ」
	「スクリーンセーバー設定」－「待ち時間」（☞107ページ）	「15秒」
	「曲切り換わり時表示」（☞53ページ）	「オフ」
音質に関する設定	「イコライザ」（☞46ページ）	「オフ」
	「VPT（サラウンド）」（☞48ページ）	
	「DSEE（高音域補完）」（☞49ページ）	
	「クリアステレオ」（☞50ページ）	
	「ダイナミックノーマライザ」（☞50ページ）	
ノイズキャンセリング設定（☞98ページ）		NOISE CANCELINGスイッチをオフにする。
ビデオに関する設定	「画面オフ設定」（☞66ページ）	「HOLD時画面オフ」

データのファイル形式やビットレートを変える

曲やビデオ、写真のフォーマットやビットレートによっても、電池の使用可能時間（連続再生時間）が変わります。
充電時間や使用時間は☞152ページをご覧ください。

目次
メニュー
索引

ファイル形式とビットレートとは？

音楽ファイル形式とは

インターネットや音楽CDから曲をSonicStageへ取り込み、保存するときのファイル形式を音楽ファイル形式といいます。
音楽ファイル形式には、MP3やWMA、ATRACなどがあります。

MP3：MPEG-1 Audio Layer3の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めたオーディオ圧縮の規格です。
音声データをCDの約10分の1に圧縮できます。

WMA：Windows Media Audioの略で、Microsoft社が開発したオーディオ圧縮形式です。MP3より小さいファイルサイズで、同等の音質が楽しめます。

ATRAC：ATRAC（Adaptive Transform Acoustic Coding）は、「ATRAC3」、「ATRAC3plus」および「ATRAC Advanced Lossless」の総称です。高音質と高圧縮を両立させた「ATRAC3」では、音声データをCDの約10分の1に圧縮でき、「ATRAC3plus」では、約20分の1に圧縮できます。
「ATRAC Advanced Lossless」は、音質を全く劣化させずに録音することができる音声圧縮技術です。従来機器との再生互換性を維持するため、ATRAC3またはATRAC3plusの音声圧縮技術と組み合せてデータを圧縮し、データサイズをCDの約30 ～ 80 %*[1]に抑えて記録できます。

*[1] 楽曲によって圧縮率が異なります。

AAC：Advanced Audio Codingの略で「AAC-LC」とも呼ばれています。ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めたオーディオ圧縮の規格です。MP3より小さいファイルサイズで、同等の音質が楽しめます。「HE-AAC」は、「AAC-LC」よりも高圧縮の規格で、携帯電話の音楽配信などにも使用されています。

リニアPCM：デジタル圧縮しない音声記録方式です。この方式で録音すると、CDと同じ音質を楽しむことができます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

著作権保護とは

音楽配信サービスなどから購入した音楽ファイルなどでは、著作権者の意向により、データに暗号化のような技術を施すことで、その利用や複製を制限している場合があります。

ビットレートとは

単位時間あたりにやりとりされる情報量のことで、64 kbps（bits per second）のように表します。数値が大きいほど情報量は多くなり、音質は向上しますが、変換後の音楽ファイルサイズも大きくなります。

曲のファイルサイズと音質、ビットレートの関係

ビットレートを上げれば、転送できる曲数が少なくなりますが、高音質な曲を本機に転送して楽しめます。
ビットレートを下げれば、転送できる曲数は多くなりますが、音質が低下します。

ご注意

- パソコンに取り込んだときのビットレートより高いビットレートで本機に転送しても、取り込んだときのビットレート以上の音質で再生することはできません。

ビデオファイル形式とは

映像と音声を圧縮し、まとめて保存するときのファイル形式をビデオファイル形式といいます。
ビデオファイル形式には、MPEG-4やAVCなどがあります。

MPEG-4：MPEG-4（Moving Picture Experts Group phase 4）の略で、MPEGで定めた規格の1つです。映像や音声の圧縮方式です。

AVC：Advanced Video Codingの略で、MPEGで定めた規格の1つです。低いビットレートでよりきれいな画質を実現します。AVCファイルには4種類のプロファイルがあり、「AVC Baseline Profile」もその1つです。ISOのMPEG-4 AVC規格に準拠しており、MPEG-4 Part 10 Advanced Video Codingとして標準化されているため、一般的にMPEG-4 AVC/H.264やH.264/AVCと呼ばれています。

WMV：Windows Media Videoの略でMPEG-4を元にMicrosoft社が開発した動画データ圧縮形式です。高い圧縮率が特徴です。

写真のファイル形式とは

画像をパソコンなどに取り込み、静止画として保存するときのファイル形式を静止画ファイル形式といいます。
静止画ファイル形式には、JPEGなどがあります。

JPEG（ジェイペグ）：JPEG（Joint（ジョイント） Photographic（フォトグラフィック） Experts（エクスパーツ） Group（グループ））で定めた画像データの圧縮形式です。画像データを1/10から1/100に圧縮できます。

ヒント

- 本機で再生できるデータのファイル形式とビットレートについて詳しくは、☞149ページをご覧ください。

目次
メニュー
索引

目次
メニュー
索引

曲間を空けずに再生したいときは

曲をATRAC*[1]形式でSonicStageに取り込んで本機に転送すると、曲間を空けずに再生できます。
コンサートやライブなど曲間を空けずに収録されたアルバムは、曲をATRAC*[1]形式でSonicStageに取り込み本機に転送すると、本機で最後まで途切れることなく再生できます。

ご注意

- 本機で曲間を空けずに再生するには、曲間を空けずに収録された1つのアルバム内の曲を、全曲まとめて一度に同じビットレートのATRAC*[1]形式で取り込む必要があります。

*[1] ATRAC Advanced Losslessは除く。

目次
メニュー
索引

曲情報はどうやって取り込まれるの？

SonicStageを使えば、CDを挿入しただけでアルバム名やアーティスト名、曲名などの曲情報を自動で取得できます。これは、CDの曲数や時間などの情報を元に、曲情報を曲情報のデータサービス：CDDB（Gracenote CD DataBase）から、インターネット経由で自動的に無償で取得しているためです。
このとき取得した曲情報は本機に転送され、さまざまな検索が可能になります。

ご注意

- 曲情報を取得する機能は無償でご利用いただけますが、はじめて曲情報を取得するときは、お使いの環境によって、Gracenoteへの登録が必要な場合があります。表示される画面の指示に従って操作してください。
- ウィルスチェックなどのソフトウェアをお使いの場合は、ファイアウォール機能により曲情報の取得が出来ない場合があります。ファイアウォール機能の設定についてはお使いのソフトウェアの説明書をご覧ください。
- CDによっては曲情報を取得できないことがあります。曲情報を取得できない場合は、SonicStageで曲情報を入力してください。曲情報の編集について詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。
- SonicStageでは、取得したアルバム名やアーティスト名、曲名が日本語の場合、読み仮名を判断し50音順で表示します。本機にはこの情報を含めて転送されるため、読み仮名で検索できます。
- アーティストの姓と名の間にスペースがない方が、読み仮名検索の精度が高くなります。取得した曲情報のアーティスト名の姓と名の間にスペースがある場合は、曲情報を編集してください。曲情報の編集について詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。

目次
メニュー
索引

データファイルを保存する

Windowsのエクスプローラを使って、パソコンのハードディスク内のデータを本機の内蔵フラッシュメモリーに転送できます。
本機をパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラ上に「WALKMAN」として、本機の内蔵フラッシュメモリーが表示されます。

ご注意

- Windowsのエクスプローラを使って本機の内蔵フラッシュメモリーを操作している間、ソフトウェアは使わないでください。
- Windowsのエクスプローラを使って、曲を転送しても本機では再生できません。付属のSonicStageを使って転送してください。
- 本機とパソコン間でのデータ転送中は、「USB接続を解除しないでください。」と表示されます。「USB接続を解除しないでください。」と表示されている間は、USBケーブルをはずさないでください。転送中のデータや本機内のデータが破損することがあります。
- パソコンで本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）しないでください。本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）するときは、必ず本機上で行ってください（☞ 111ページ）。
- 「MUSIC」、「OMGAUDIO」フォルダ内のファイルやフォルダ名を変更したり、ファイルを転送したりしないでください。本機が正常に動作しなくなることがあります。

目次
メニュー
索引

ファームウェアをアップデートする

本機は、最新のファームウェアをインストールすることで、新しい機能の追加などを行えます。最新のファームウェアおよび更新の方法について詳しくは、「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページでご案内しておりますのでご確認ください。
http://www.sony.co.jp/walkman-support/

1. **「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページから、アップデートプログラムをダウンロードする。**
2. **本機をパソコンに接続し、アップデートプログラムを起動する。**
3. **アップデートプログラムのメッセージに従ってアップデートを行う。**
   これでファームウェアのアップデートは完了です。

目次
メニュー
索引

故障かな？と思ったら

本機の操作中に困ったときや、トラブルが発生したときは、次の手順で解決方法をご確認ください。

1 「故障かな？と思ったら」の各項目で調べる（☞ 122ページ）。

2 パソコンに接続して、充電をする。

充電することで問題が解決することがあります。

3 クリップなどの細い棒で、RESETボタンを押す。

動作中にRESETボタンを押すと、本機に保存しているデータや設定が消去される場合があります。

4 SonicStageやMedia Manager for WALKMANを使用しているときは、ソフトウェアのヘルプで調べる。

5 「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページで調べる（☞ 121ページ）。
http://www.sony.co.jp/walkman-support/

6 手順1～5を確認しても問題が解決しないときは、ソニーの相談窓口（☞ 最終ページ）またはお買い上げ店に相談する。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

サポートホームページについて

パソコンをインターネットに接続できる環境の場合、「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページ
http://www.sony.co.jp/walkman-support/でトラブルの解決方法や最新情報などを調べることができます。

サポートホームページを見るには

Internet Explorerなどのアドレス欄に
http://www.sony.co.jp/walkman-support/と入力してサポートホームページを表示します。

＊ サポートホームページの内容は、2008年8月現在のものです。

サポートホームページでは、以下の情報などを見ることができます。

- ソフトウェアアップデートなどの最新情報
- 製品別サポート情報
- Q&A（よくある問い合わせ情報）
- SonicStageやMedia Manager for WALKMANなどのソフトウェアの使いかた
- 重要なお知らせ（サポートからの重要なお知らせ）
- カスタマー登録（カスタマー登録へのご案内）

目次
メニュー
索引

本機の操作

症状	原因／処置
再生音が出ない	• 音量がゼロになっている。 ➔ 音量を上げてください（☞ 8ページ）。 • ヘッドホンがジャックにしっかり差し込まれていない。 ➔ 正しく接続されていないと再生音が正常に聞こえません。「カチッ」と音がするまで差し込んでください（☞ 7ページ）。 • ヘッドホンのプラグが汚れている。 ➔ 乾いた布でプラグの汚れを拭きとってください。
曲やビデオが再生されない、写真が表示されない	• 電池が消耗している。 ➔ 充分に充電してください（☞ 17ページ）。 ➔ 充電しても反応しない場合は、RESETボタンを押して本機をリセットしてください（☞ 120ページ）。 • ドラッグアンドドロップで転送したビデオや写真の階層が適切ではない（☞ 21ページ）。 • 本機で再生できないフォーマットのファイルを転送した。 ➔ 再生できるファイルは、「主な仕様」の「再生できるファイルの種類」（☞ 149ページ）をご覧ください。ファイルの仕様によっては再生できないことがあります。
転送したビデオや写真、ポッドキャストがリストに表示されない	• 表示できる最大ファイル数を超えている。ビデオの最大表示数は1,000、写真の最大表示数は10,000、ポッドキャストのエピソードの最大表示数は10,000です。写真フォルダ一覧で表示できる最大写真フォルダ数は1,000、ポッドキャスト一覧で表示できる最大ポッドキャスト数は1,000です。 ➔ 不要なビデオ、写真、ポッドキャストを削除してください。 • 対応していないフォーマットで記録されたビデオや写真は本機で認識されず、リストに表示されません（☞ 149ページ）。 • パソコンから本機に転送したビデオのファイル名を変更したり、ファイルの場所を移動したりすると本機で認識されない場合があり、リストに表示されません。 • 適切なフォルダと階層にデータを置いていない。 ➔ 適切なフォルダと階層にデータを置いてください（☞ 21ページ）。 • Windowsのエクスプローラで、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）した。 ➔ 本機上で、内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください（☞ 111ページ）。 • 転送中、本機からUSBケーブルがはずれた。 ➔ 使用可能なファイルをパソコンに戻し、本機上で、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください（☞ 111ページ）。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

本機の操作（つづき）

症状	原因/処置
1つのアルバムなど限られた範囲でしか再生されない	● 「再生範囲設定」（☞ 45ページ）が「選択範囲内を再生」に設定されている。 → 再生範囲の設定を変更してください。
写真を削除できない	● 写真は本機上で削除できません。 → Media Manager for WALKMANで転送したものはMedia Manager for WALKMANで、Windowsのエクスプローラで転送したものはWindowsのエクスプローラを使って削除してください。
転送したアルバムが、複数になって表示される	● コンピレーションアルバムをSonicStageでパソコンに取り込む場合、複数のアルバムとして取り込まれることがあります。その場合は、SonicStageで1つのアルバムになるように編集してから、本機に転送し直してください。編集について詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。
雑音が入る	● 静かな場所でノイズキャンセリング機能をオンにしている（NW-S736F/S738F/S739Fのみ）。 → 静かな場所や周囲の騒音の種類によってはノイズが大きくなると感じる場合があります。その際はノイズキャンセリング機能をオフにしてください（☞ 98ページ）。なお、付属のヘッドホンは、屋外や電車内など騒音の多い場所でノイズキャンセリング効果を最大限に生かすために、ヘッドホンの音圧感度を大幅に高めています。そのため、ノイズキャンセリング機能をオフにしても静かな場所ではかすかなホワイトノイズが聞こえる場合があります。 ● 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。 → 携帯電話などを本機から離して使用してください。 ● CDなどから取り込んだ曲が破損している。 → データを削除して取り込み、転送し直してください。曲を取り込むときは、その他の作業を中止してください。データが破損する原因となることがあります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

本機の操作（つづき）

症状	原因／処置
ノイズキャンセリング機能の効果が得られない（NW-S736F/S738F/S739Fのみ）	• ノイズキャンセリング機能をオフにしている。 → NOISE CANCELINGスイッチをオンにしてください（☞ 98ページ）。 • 付属のヘッドホンを装着していない。 → 付属のヘッドホンを使用してください。 • ヘッドホンを正しく装着していない。 → イヤーピースを交換したり、おさまりの良い位置にするなど、ぴったりと耳に装着させるようにしてください（☞ 9ページ）。イヤーピースがはずれて耳に残らないよう、イヤーピースを交換する際には、ヘッドホンにしっかり取り付けてください。 • ノイズキャンセル調整が適切に設定されてない可能性がある。 → 本機は、ノイズキャンセリング機能の効果が最も得られるようにあらかじめ設定されていますが、ヘッドホンに搭載されているマイクの感度を上げる（または下げる）ことで更に効果が得られる場合があります。ノイズキャンセルの調整をし直してください（☞ 102ページ）。 • 静かな場所で使用している。 → 静かな場所や、周囲の騒音の種類によっては、ノイズキャンセリング機能の効果が感じられないことがあります。
VPT（サラウンド）設定、クリアステレオ機能の効果が感じられない	• 別売りのクレードルなどを使用して外部スピーカーに音声を出力した場合、ヘッドホンで聞いたときよりもVPT（サラウンド）設定やクリアステレオ機能の効果が感じられないことがあります。これはヘッドホンで最適になるように設計されているためで故障ではありません。
本機が動作しない（ボタン操作に反応しない）	• HOLDスイッチがHOLDの位置になっている。 → HOLDスイッチを逆の位置にスライドしてください（☞ 8ページ）。 • 結露している。 → そのまま約2、3時間おいてください。 • 電池の残量が少ない、または消耗している。 → 本機を起動中のパソコンに接続するなどして、充分に充電してください（☞ 17ページ）。 → 充電しても反応しない場合は、RESETボタンを押して本機をリセットしてください（☞ 120ページ）。 • 本機はUSB接続中は操作できません。 → パソコンとの接続をはずして操作してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

本機の操作（つづき）

症状	原因／処置
再生を停止できない	• 本機では、再生の停止は一時停止になります。▶II ボタンを押すと、II が表示され、再生を一時停止します。
再生音が 大きくならない	• AVLS が設定されている。 → AVLS 設定を解除してください（☞ 104 ページ）。
右チャンネルから音が出ない、または右チャンネルの音が左右両方のヘッドホンから聞こえる	• ヘッドホンがジャックにしっかり差し込まれていない。 → 正しく接続されていないと再生音が正常に聞こえません。「カチッ」と音がするまで差し込んでください（☞ 7 ページ）。
再生していたら 急に音が止まった	• 電池の残量が少ない、または消耗している。 → 本機を起動中のパソコンに接続するなどして、充分に充電してください（☞ 17 ページ）。 • 本機で再生できない曲、またはビデオを再生しようとしている。 → 別の曲やビデオを選び、再生してください。
サムネイル（ジャケット写真など）が表示されない	• 曲に適切な形式のジャケット写真情報が登録されていない。 → SonicStage でジャケット写真の登録をしてください。 • ビデオの場合、ビデオファイルと同じ名前のサムネイル画像が必要です。 → 本機の「VIDEO」フォルダ内にビデオファイルと同じ名前の JPEG ファイルがある必要があります。 • 写真の場合、Exif に準拠したサムネイル情報が含まれていないと、サムネイルは表示されません。 → 付属の Media Manager for WALKMAN で転送し直してください。
知らないうちに電源が切れて電源が入った	• 正常に動作しなくなったときに、本機では自動的に電源を入れ直します。
本機の動作がおかしい	• 本機を接続したままの状態で、接続先の USB 機器（パソコンなど）の電源を入れた／切った。 • RESET ボタンを押して本機をリセットしてください（☞ 120 ページ）。USB 機器の電源を入れる／切る場合は、USB 機器から本機を取りはずしてから行ってください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

画面表示

症状	原因 / 処置
画面に「□」と表示される	● 本機で表示できない文字が使用されている。 ➔ 付属のSonicStageソフトウェアを使って本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。
写真を表示中に、画面が暗くなった	● 写真を表示中に「スクリーンセーバー設定」の「待ち時間」(☞ 107ページ)で設定した時間以上操作がなかった。 ➔ いずれかのボタンを押してください。
表示が消える	● 一時停止中に3分以上操作がなかった。 ➔ いずれかのボタンを押してください。 ● 「スクリーンセーバー設定」の「種類」を「画面オフ」に設定した状態で(☞ 107ページ)、「待ち時間」(☞ 107ページ)で設定した時間以上操作がなかった。 ➔ いずれかのボタンを押してください。 ➔ 「スクリーンセーバー設定」の「種類」を「画面オフ」以外に設定してください(☞ 107ページ)。 ● ビデオ設定の「画面オフ設定」を「HOLD時画面オフ」に設定している。 ➔ HOLDスイッチを逆の位置にスライドしてください(☞ 8ページ)。 ➔ 「画面オフ設定」を「常時画面オン」に設定してください(☞ 66ページ)。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

電源

症状	原因／処置
電池の持続時間が短い	• 5 ℃以下の環境で使用している。 → 電池の特性によるもので故障ではありません。 • 充電時間が足りない。 → FULL が表示されるまで充電してください。 • 本機の設定変更や電源管理を適切に行うことで、電池の使用量を節約し長時間使用できます（☞ 112ページ）。 • 本機を長期間使用していなかった。 → 何回か充放電を行うと、電池性能が回復します。 • 電池を充分に充電しても、使える時間がお買い上げ時の半分くらいになったときは電池が劣化しています。 → ソニーサービス窓口にお問い合わせください。
充電できない	• USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない。 → USBケーブルをいったんはずして、接続し直してください。 → 付属のUSBケーブルを使用してください。 • 5 ℃～ 35 ℃の範囲外の環境で充電している。 → 5 ℃～ 35 ℃の環境で充電してください。 • パソコンの電源が入っていない。 → パソコンの電源を入れてください。 • パソコンがスタンバイ（スリープ）、休止状態に入っている。 → パソコンのスタンバイ（スリープ）、休止状態を解除してください。 • 上記に当てはまらない場合は、本機のRESETボタンを押してからUSB接続をし直してください。
本機の電源が自動的に切れた	• 本機は電池の消耗を防ぐために自動的に再生待機状態（画面表示を消す）になります。 → いずれかのボタンを押すと電源が入ります。
充電がすぐに終わる	• 満充電に近い場合、すぐに充電が終わります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

パソコンとの接続

症状	原因 / 処置
インストールできない	• 対応OS以外のOSを使っている。 → パソコンの動作環境を確認してください（☞ 154ページ）。 • すべてのWindowsのソフトウェアを終了していない。 → ほかのソフトウェアが起動した状態でインストールを行うと、不具合が生じることがあります。特にウィルスチェックソフトウェアは負担が大きいため、必ず終了してください。 • ハードディスクの空き容量が足りない。 → ハードディスクの空き容量は450 MB以上必要なため、不要なファイルなどを削除してください。 • Administrator権限またはコンピュータの管理者以外でログオンしている。 → Administrator権限またはコンピュータの管理者でログオンしていない場合、インストールできないことがあります。Administrator権限またはコンピュータの管理者でログオンしてください。また、ユーザー名に全角文字をご使用の場合は、半角英数字のユーザー名で新規のアカウントを作成してください。 • メッセージダイアログがインストール画面の後ろに隠れていて、インストール作業が止まっているように見える場合がある。 → [Alt] キーを押しながら [Tab] キーを数回押してください。ダイアログが表示されたら、メッセージに従って操作してください。 • 日本語以外のOSを使っている。 → 日本語OS以外にはインストールできません。
インストール時に画面上のバーが動いていない。または、ハードディスクのアクセスランプが数分間点灯していない	• インストール作業は正常に行われているため、そのままお待ちください。お使いのパソコンによっては、インストール終了まで30分以上かかる場合があります。
SonicStage、またはMedia Manager for WALKMANが起動しない	• WindowsのOSをバージョンアップするなど、パソコン環境を変更すると、起動しない場合があります。「ウォークマン カスタマーサポート」（http://www.sony.co.jp/walkman-support/）のホームページで調べてください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

パソコンとの接続（つづき）

症状	原因／処置
USBケーブルでパソコンにつないでも、本機の画面に「USB接続中」と表示されない（本機がパソコンに認識されない）	• USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない。 ➔ USBケーブルをいったんはずして、接続し直してください。 ➔ 付属のUSBケーブルを使用してください。 • USBハブを使用している。 ➔ USBハブを使用していると、表示されない場合があります。パソコンのUSBコネクタに直接接続してください。 • 接続しているUSBコネクタに不具合がある可能性があります。パソコンの別のUSBコネクタに接続してください。 • ソフトウェアの認証を行うために、時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。 • ソフトウェアのインストールに失敗している。 ➔ 付属のCD-ROMに入っているインストーラーを使ってもう一度ソフトウェアをインストールしてください。取り込んだデータは引き継がれます。 • 上記に当てはまらない場合は、本機のRESETボタンを押してからUSB接続をし直してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

パソコンとの接続（つづき）

症状	原因／処置
転送できない	• USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない。 ➔ USBケーブルをいったんはずして、接続し直してください。 • 本機の空き容量が不足している。 ➔ 不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。 • 本機に転送できるプレイリストは8,192です。それを超える曲数またはプレイリストは転送できません。また、1プレイリストにつき999曲を超える曲数は転送できません。 • 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向により本機に転送できない場合があります。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者にお問い合わせください。 • SonicStage以外のソフトウェアを使って、CDなどから取り込んだ著作権保護されたWMAファイルは、SonicStageへ取り込んでもフォーマット変換できないため、本機へ転送できません。 • 本機に異常のあるデータが入っている。 ➔ 必要なデータをパソコンに戻し、本機を初期化（フォーマット）してください（☞ 111ページ）。 • 付属のソフトウェアを使っていない。 ➔ 付属のソフトウェアをインストールし、データを転送してください。 • データが破損している。 ➔ 転送できないデータをパソコンから削除し、もう一度そのデータを取り込み直してください。パソコンにデータを取り込むときは、その他の作業を中止してください。データが破損する原因となることがあります。
転送に時間がかかる	• ファイルサイズの大きなデータを本機に転送した。 ➔ ファイルサイズが大きいと転送に時間がかかることがあります。
転送できるデータが少ない （録音できる時間が少ない）	• 本機の空き容量が不足している。 ➔ 不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。 • 本機で再生するデータ以外のデータが入っている。 ➔ 本機で再生するデータ以外のデータが入っていると、転送できる曲やビデオ、写真、録音できる時間が減ります。本機で再生するデータ以外のデータをパソコンに移動するなどして、本機の空き容量を増やしてください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

パソコンとの接続（つづき）

症状	原因／処置
パソコンに曲を戻せない	● 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻そうとしている。 → 転送したパソコンと異なるパソコンには曲を戻せません。初めに曲を転送したパソコンへ戻してください。パソコンに曲を戻せず本機の曲を削除する場合は、SonicStageで曲を選んで をクリックして削除してください。 ● 転送元のパソコンで曲を削除した。 → 転送元のパソコンで曲を削除すると、曲を戻せません。
パソコン接続中の動作が安定しない	● USBハブまたはUSB延長ケーブルを使用している。 → USBハブまたはUSB延長ケーブルを使用すると、動作が安定しないことがあります。パソコンのUSBコネクタに直接接続してください。

おまかせチャンネル

症状	原因／処置
表示されないチャンネルがある	● 曲が1曲も振り分けられていないチャンネルは表示されません。
時間帯別のチャンネルが、いつでも「朝のおすすめ」チャンネルになっている	● 本機の時刻設定がされていない場合は、常に「朝のおすすめ」になります。 → 本機の時刻設定を行ってください（☞ 108ページ）。
時間帯別のチャンネルを再生すると、時間帯に合っていない曲が再生される	● 時間帯別のチャンネルに1曲も曲が割り振られていない場合は、時間帯別のチャンネルではミュージックライブラリの全曲をシャッフルして再生します。

FMラジオ

症状	原因／処置
FMラジオ放送がよく聞こえない	● 受信している周波数が適切でない。 → 放送がもっともよく聞こえる周波数を▲/▼ボタンを使い選局してください（☞ 80ページ）。
雑音が多く、音が悪い	● 電波が弱い。 → 建物や乗り物内では電波が弱い場合があります。窓際に近づくなどして電波の入りやすい場所を選んでください。 ● ヘッドホンのコードが伸びていない。 → ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。できるだけ長く伸ばしてお使いください。
雑音が入る	● 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。 → 携帯電話などを本機から離して使用してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

録音

症状	原因 / 処置
録音中にノイズが出る	● 本機での録音に対応した別売りのアクセサリーに録音レベル切り換えスイッチがある場合、録音レベル切り換えスイッチが合っていない。 → 接続しているオーディオ機器に合った位置にしてください。詳しくは、本機での録音に対応した別売りのアクセサリーの取扱説明書をご覧ください。
曲のはじめの数秒が録音されない	● シンクロ録音を有効にしている場合、ゆっくりフェードインする曲など録音する曲によっては無音検出が働き、正確に曲のはじめを検出できない場合があります。 → マニュアル録音にして録音してください（☞ 88ページ）。
曲を消しても録音できる残り時間が増えない	● システム上の制約で、短い曲を何曲か消しても録音できる残り時間が増えないことがあります。
録音できない	● 本機での録音に対応した別売りのアクセサリーを接続していない。 → 本機での録音に対応した別売りのアクセサリーを接続してください（☞ 86ページ）。 ● 本機の空き容量が不足している。 → 不要な曲を削除してください（☞ 36、93ページ）。 → 録音した曲をパソコンに取り込んでください（☞ 89ページ）。 ● 本機に録音できる総曲数は4,000曲、フォルダ数は255個です。それを超える曲数は録音できません。 → 不要な曲を削除してください（☞ 36、93ページ）。 → 録音した曲をパソコンに取り込んでください（☞ 89ページ）。 ● 1つのフォルダに録音できる曲数は255曲です。 → 録音するフォルダを変更してください。 ● 録音元のオーディオ機器と正しく接続されていない。 → 本機での録音に対応した別売りのアクセサリーを使って正しく接続してください。 ● パソコンと接続している。 → パソコンの接続をはずしてください。 ● 録音中に本機の電池残量が少なくなり、電源が切れた。 → 充電して録音してください。
録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間に一致しない	● システム上の制約で、短い曲をたくさん録音すると合計時間と合わなくなることがあります。

次のページにつづく ⇩

録音（つづき）

症状	原因／処置
録音した曲の音量が小さい	• 録音元のオーディオ機器の出力レベルが低すぎた。 → 録音元の音量を上げる。 → アクセサリーによっては、録音入力レベルの切り換えができるものがあります。詳しくは、本機での録音に対応した別売りのアクセサリーの取扱説明書をご覧になって調整してください。

その他

症状	原因／処置
操作時の確認音が鳴らない	• 「操作確認音」の設定が「オフ」になっている。 → 「操作確認音」の設定を「オン」にしてください（☞ 105ページ）。 • 別売りのクレードルなどに接続している場合、操作確認音は鳴りません。
本体が温かくなる	• 充電中または充電直後に本体が一時的に温かくなることがあります。また、大量のデータを転送した場合も、一時的に温かくなることがあります。しばらく放置してください。
曲が切り換わるときに画面が点灯する	• 「曲切り換わり時表示」が「オン」に設定されている。 → 「曲切り換わり時表示」を「オフ」に設定してください（☞ 53ページ）。
日付と時刻がリセットされる	• 電池を使いきった状態でしばらく放置すると、日付と時刻がリセットされる場合がありますが、故障ではありません。FULL が表示されるまで充電し、日付と時刻を設定し直してください（☞ 17ページ）。
ヘッドホンを抜き差しするとノイズが聞こえる	• ヘッドホンの抜き差しはヘッドホンを耳からはずして行ってください。音楽を再生した状態や、ノイズキャンセリング機能（NW-S736F/S738F/S739Fのみ）が働いたままでヘッドホンを抜き差しするとヘッドホンからノイズが発生しますが、故障ではありません。

目次
メニュー
索引

メッセージ一覧

本機の画面にメッセージが出たら、下の表に従ってチェックしてみてください。

表示	原因 / 処置
曲がありません。対応ソフト・機器と接続し、曲を転送してください。	• ミュージックライブラリに曲が1曲もないのに、再生しようとした。 → 本機に曲を転送してください。本機で録音（ダイレクトエンコーディング）した曲は、録音メニューから再生してください（☞ 91ページ）。
グループ数制限を超えました。	• Simple Mode（☞ 104ページ）で本機を使用中に、リスト画面（曲一覧を除く）での合計項目数が制限数（8,192）を超えた。 → 制限数を超過した曲は「未分類」に分けられます。探している曲がない場合は、「未分類」のリスト内を探してください。 「未分類」に曲を分けたくない場合は、不要な曲を削除し、制限数内で収めてください。
この写真を壁紙に設定できませんでした。	• ファイルサイズの大きい写真を壁紙に設定しようとした。 → 選択した写真のファイルサイズが大きすぎないか、破損していないかを確認してください。
これ以上フォルダを作成できません。不要なフォルダを削除してください。	• 録音フォルダ数が255個に達し、さらにフォルダを作成しようとした。 → 本機に作成できる録音フォルダ数は、255個です。不要なフォルダを削除してから（☞ 93ページ）、再度フォルダを作成してください。 • フォルダ数が255個に達している状態で、シンクロ録音を開始しようとした。 → 本機に作成できるフォルダ数は、255個です。不要なフォルダを削除してから（☞ 93ページ）、再度録音してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	原因 / 処置
再生可能な曲が含まれていません。	• 音楽のオプションメニューで「これを再生」を選んだが、再生しようとしたフォルダ以下に再生可能な曲がない。 → 再生可能なファイル形式のデータを転送してください。 • 選択したフォルダ以下の曲が、すべて削除予定リストに登録されている。 → 削除予定リストから曲を解除してください。
再生できません。未対応形式です。	• 本機で再生できないデータを再生しようとした。 → 本機で対応していないデータは再生できません(☞ 149ページ)。
削除に失敗しました。	• 選んだビデオを削除できなかった。 → Media Manager for WALKMANまたはWindowsのエクスプローラで削除してください。
削除予定の曲は再生できません。削除予定リストから再生するか、削除予定を解除してください。	• 削除予定リストに登録されている曲を再生しようとした。 → 削除予定リストに登録されている曲は、曲一覧からは再生できません。 ミュージックライブラリの「プレイリスト」から「削除予定リスト」を選び再生してください(☞ 29ページ)。または、曲を削除予定リストから解除してください(☞ 37ページ)。
全てのブックマークリストに 100 曲登録されています。これ以上登録できません。	• すべてのブックマークリストに100曲登録されているときに、まだ未登録の曲をブックマークリストに登録しようとした。 → 不要な曲をブックマークリストから解除してください(☞ 42ページ)。
電池残量がありません。充電してください。	• 電池が消耗している。 → 充電してください(☞ 17ページ)。
動作に必要な容量がありません。ファイルを削除して容量を確保してください。	• 本機の空き容量が不足している。 → 転送したソフトや機器に接続して、本機から不要なファイルを削除してください。 ビデオファイルは、本機を使って削除できます(☞ 59ページ)。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	原因 / 処置
ノイズキャンセルが無効になっているため実行できません。（NW-S736F/S738F/S739F のみ）	• 「ノイズキャンセル設定」で「外部入力/サイレント」を選んだが、ノイズキャンセル機能が無効になっている。 → 本機のNOISE CANCELINGスイッチをオンにしてノイズキャンセリング機能を有効にしてください。
ファームウェアをアップデートできませんでした。	• ファームウェアのアップデートに失敗した。 → パソコンに表示される画面に従って、ファームウェアのアップデートをし直してください。
メモリーが正しく初期化されていません。各種設定からメモリー初期化を行ってください。	• 内蔵フラッシュメモリーが正しく初期化されていない。または、内蔵フラッシュメモリーがパソコンで初期化されてれいる。 → 「各種設定」－「共通設定」から「メモリー初期化」を選び、内蔵フラッシュメモリーを初期化し直してください（☞ 111ページ）。
容量が不足しています。不要なファイルを削除してください。 **容量が不足したため、録音を停止しました。不要なファイルを削除してください。**	• 録音中にメモリー残量が無くなった。または、メモリー残量が無い状態で、録音を始めようとした。 → 録音可能時間は、内蔵フラッシュメモリーの空き容量によって変化します。不要な曲を削除してから（☞ 36、93ページ）、再度録音してください。
録音できません。これ以上フォルダを作成できません。不要なフォルダを削除してください。	• フォルダ数が255個に達している状態で、シンクロ録音を開始しようとした。 → 本機に作成できるフォルダ数は、255個です。不要なフォルダを削除してから（☞ 95ページ）、再度録音してください。
録音できません。ひとつのフォルダに録音できる曲数は最大 255 曲です。	• フォルダに録音した曲が255曲に達し、さらに録音しようとした。 → 1つのフォルダに録音できる曲は255曲までです。不要な曲を削除してから（☞ 93ページ）、再度録音してください。
録音できません。録音できる曲数は最大4000 曲です。不要な曲を削除してください。	• 録音した曲が4,000曲に達し、さらに録音しようとした。 → 録音できる総曲数は4,000曲までです。不要な曲を削除してから（☞ 93ページ）、再度録音してください。

次のページにつづく ⇩

表示	原因 / 処置
100 曲以上は登録できません。	● ブックマークまたは削除予定リストの登録制限数を超えた。 ➔ 不要な曲をブックマークリスト、または削除予定リストから解除し（☞ 42、37ページ）、制限数内で登録してください。
HOLD 中です。 HOLD スイッチを操作して、HOLD を解除してください。	● 本機の意図しない動作を防ぐために、ボタン機能が無効になっています。 ➔ 本機のHOLDスイッチ（☞ 8ページ）を▶と逆の方向にスライドさせてHOLDを解除してください。
Simple Mode	● パソコン以外の本機に曲を転送できる機器と本機を接続し、接続を解除した。または、SonicStageのインテリジェント機能を無効にし、本機をSonicStageに接続し、接続を解除した。 ➔ 本機にSimple Modeと表示されたときは以下の制限があります。 – ミュージックライブラリで、「☆評価」、「リリース年」、「最近転送したアルバム」、「再生履歴」での再生や、プレイリストの「よく聞く100曲」での再生はできません。 – イニシャルサーチでの「カナ」での検索ができません。 – インテリジェントシャッフルの「よく聞くシャッフル」、「タイムマシンシャッフル」での再生はできません。
USB 接続を解除しないでください。	● 本機をパソコンや外部機器に接続しデータを転送している。 ➔ USB接続してデータを転送しているときは、データ転送が完了するまでUSBケーブルをはずさないでください。

目次
メニュー
索引

目次
メニュー
索引

ソフトウェアをアンインストールする

インストールした付属のソフトウェアをパソコンから削除したいときは、以下の手順に従ってください。

1. **「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックする。**
2. **「プログラムの追加と削除」をダブルクリックする。**
3. **一覧から「SonicStage X.X」または、「Sony Media Manager for WALKMAN X.X」を選び、「削除」*[1] をクリックする。**
   メッセージに従ってパソコンを再起動します。
   再起動が完了すると、アンインストールは終了です。

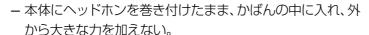
*[1] Windows Vistaでは「アンインストールと変更」

ご注意

- SonicStage をインストールすると、「OpenMG Secure Module」もインストールされます。「OpenMG Secure Module」は、他のソフトウェアでも使用していることがありますので削除しないでください。

目次
メニュー
索引

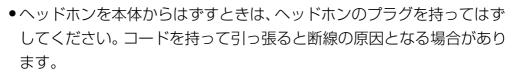
使用上のご注意

充電について

- 充電時間は電池の使用状態により異なります。
- 電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、電池が劣化していると思われます。ソニーサービス窓口へお問い合わせください。

本機の取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。本機の故障の原因となります。
- 以下のような場所に置かないでください。
  – 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ
変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
  – ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内（とくに夏季）
  – ホコリの多いところ
  – ぐらついた台の上や傾いたところ
  – 振動の多いところ
  – 風呂場など、湿気の多いところ
  – 磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、本機をラジオやテレビから離してください。
- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口（☞ 最終ページ）に相談してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

- 本機をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
  - 本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。

  - 本体にヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。

- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
  - 洗面所などでポケットに入れての使用
    身体をかがめたときなどに落として水濡れの原因となる場合があります。
  - 雨や雪、湿度の多い場所での使用
  - 汗をかく状況での使用
    濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れると水濡れの原因となる場合があります。

- ヘッドホンを本体からはずすときは、ヘッドホンのプラグを持ってはずしてください。コードを持って引っ張ると断線の原因となる場合があります。

- イヤーピースは長期の使用・保存により劣化する恐れがあります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ご使用について

- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながら使用しないでください。特にノイズキャンセリング機能（NW-S736F/S738F/S739Fのみ）は周囲の音を遮断しますので、警告音なども聞こえにくくなります。運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。
- 飛行機内で使用する際は、離着陸時など、機内のアナウンスに従ってご使用をお控えください。
- 本機を寒い場所から急に暖かいところに持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。結露とは、空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。
  結露が生じたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。

目次
メニュー
索引

お手入れ

本体表面の汚れは

- 柔らかい布（市販のめがね拭きなど）で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
- 内部に水が入らないようにご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾拭きしてください。

イヤーピースのお手入れについて

ヘッドホンからイヤーピースをはずし、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよく拭いてからご使用ください。

目次
メニュー
索引

重要なお知らせ

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。
- 本機に付属のソフトウェア上で表示できる言語は、パソコンにインストールされているOSによって異なります。お使いのパソコンのOSが、表示したい言語に対応しているかどうかをご確認ください。
  - 言語によっては、このソフトウェア上で正しく表示できない場合があります。
  - ユーザー定義の文字や特殊な記号は表示されない場合があります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

サンプルデータについて

本機は、音楽、ビデオ、写真の試聴・体験用サンプルデータをあらかじめインストールしています。
一度削除したサンプルデータは元に戻せません。また、新たにサンプルデータの提供はいたしませんのでご了承ください。

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合、および音楽、ビデオ、写真データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。
- 以下の理由により、一部の文字や記号が本機上で正しく表示されない場合があります。
  - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーの性能。
  - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーが正常に動作していない。
  - コンテンツやファイルの情報が、ポータブルプレーヤーでサポートされていない言語や記号で書かれている。

本機を廃棄するときのご注意

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。（「ソニーの相談窓口」の連絡先は最終ページに記載されています。）

目次
メニュー
索引

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この詳細操作ガイドをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルメディアプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

目次
メニュー
索引

商標について

- SonicStageおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- OpenMG、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plus、ATRAC Advanced Losslessおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- "ウォークマン"、"WALKMAN"、"WALKMAN" ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- DSEE Digital Sound Enhancement Engine および CLEAR BASS はソニー株式会社の商標です。
- "12 TONE ANALYSIS" およびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- LCMIRおよびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- Microsoft および Windows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- QuickTimeは米国Apple Inc.の登録商標です。
- PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- 本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。
- 本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているMPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：
  (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号（以下、MPEG 4 VIDEOといいます）にエンコードすること。
  (ii) MPEG-4 VIDEO（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

  なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照下さい。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

- 本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っている AVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：
  (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。
  (ii) AVC Video（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

  なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照下さい。
- 本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っている VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：
  (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、VC-1規格に合致したビデオ信号（以下、VC-1 VIDEOといいます）にエンコードすること。
  (ii) VC-1 VIDEO（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

  なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照下さい。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

この製品は "Embedded Memory with Playback and Recording Function System"（以下"EMPR*[1]"）規格に準拠して製造されています。コンテンツ保護方式として "MagicGate Type-R for Secure Video Recording for EMPR"を利用しています。

*1 "EMPR"は、ソニー株式会社が開発した著作権保護に対応したシステムの規格名であり、"MagicGate Type-R for Secure Video Recording for EMPR"はDpa（社団法人デジタル放送推進協会）からデジタル放送記録時のコンテンツ保護方式として認可を得ています。

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

目次
メニュー
索引

主な仕様

再生できるファイルの種類

ミュージック（ポッドキャストを含む）		
音声圧縮形式（コーデック）	MP3	ビットレート：32 ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応 サンプリング周波数*[1]：32、44.1、48 kHz
	WMA*[2]	ビットレート：32 ～ 192 kbps、可変ビットレート（VBR）対応 サンプリング周波数*[1]：44.1 kHz
	ATRAC	ビットレート：48 ～ 352 kbps（66*[3]、105*[3]、132 kbpsはATRAC3） サンプリング周波数*[1]：44.1 kHz
	ATRAC Advanced Lossless*[4]	ビットレート：64 ～ 352 kbps（132 kbpsはATRAC3 base layer） サンプリング周波数*[1]：44.1 kHz
	リニアPCM	ビットレート：1,411 kbps サンプリング周波数*[1]：44.1 kHz
	AAC*[2]	ビットレート：16 ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応*[5] サンプリング周波数*[1]：8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz
	HE-AAC	ビットレート：32 ～ 128 kbps、可変ビットレート（VBR）対応 サンプリング周波数*[1]：44.1 kHz
ビデオ（ポッドキャストを含む）		
ビデオ圧縮形式（コーデック）	フレーム数：最大30 fps 解像度：最大QVGA（320 x 240）	
	AVC（H.264/AVC）	ファイルフォーマット：MP4ファイルフォーマット、メモリースティックビデオフォーマット 拡張子：.mp4、.m4v プロファイル：Baseline Profile レベル：1.2、1.3 ビットレート：最大768 kbps
	MPEG-4	ファイルフォーマット：MP4ファイルフォーマット、メモリースティックビデオフォーマット 拡張子：.mp4、.m4v プロファイル：Simple Profile ビットレート：最大2,500 kbps
	Windows Media Video 9	ファイルフォーマット：ASFファイルフォーマット 拡張子：.wmv ビットレート：最大1,700 kbps
音声圧縮形式（コーデック）	AAC-LC（AVC、MPEG-4用）	チャンネル数：最大2チャンネル サンプリング周波数：24、32、44.1、48 kHz ビットレート：1チャンネルあたり最大288 kbps
	WMA（Windows Media Video 9用）	ビットレート：32 ～ 192 kbps（可変ビットレート（VBR）対応） サンプリング周波数*[1]：44.1 kHz
ファイルサイズ	最大2 GB	
ファイル数	最大1,000ファイル	
フォト*[6]		
写真圧縮形式（コーデック）	JPEG	DCF 2.0/Exif 2.21のファイルフォーマットに準拠 拡張子：.jpg JPEG（Baseline） 画素数：最大4,000 × 4,000ピクセル（1,600万画素）
ファイル数	最大10,000ファイル	

*[1] すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。
*[2] 著作権保護されたファイルは再生できません。

次のページにつづく

目次
メニュー
索引

*3 SonicStageでは、ATRAC3 66/105 kbpsのCD録音はできません。
*4 ATRAC Advanced Losslessのビットレート表記は、ATRAC対応機器・メディアに高速転送可能なコンテンツのビットレートを意味します。
*5 サンプリング周波数によっては、規格外および保証外の数値も含みます。
*6 データの種類によっては表示できないものがあります。

記録できる最大曲数と時間の目安

1曲4分のATRAC形式*1およびMP3形式の曲だけを転送・録音した場合で計算しています。他の再生できる音楽ファイル形式では、増減する可能性があります。

*1 ATRAC Advanced Losslessは除きます。ATRAC Advanced Losslessは楽曲により圧縮率が異なります。例えば、CD1枚（4分の曲が15曲入っていた場合）が約200 MB ～ 500 MBになります。

	NW- S636F/S636FK/S736F		NW- S638F/S638FK/S738F	
ビットレート	曲数	時間	曲数	時間
48 kbps	2,550曲	約170時間00分	5,350曲	約356時間40分
64 kbps	1,900曲	約126時間40分	4,000曲	約266時間40分
128 kbps	985曲	約65時間40分	2,050曲	約136時間40分
256 kbps	495曲	約33時間00分	1,000曲	約66時間40分
320 kbps	395曲	約26時間20分	820曲	約54時間40分
1,411 kbps（リニアPCM）	90曲	約6時間00分	185曲	約12時間20分

	NW- S639F/S739F	
ビットレート	曲数	時間
48 kbps	10,900曲	約726時間40分
64 kbps	8,150曲	約543時間20分
128 kbps	4,150曲	約276時間40分
256 kbps	2,100曲	約140時間00分
320 kbps	1,650曲	約110時間00分
1,411 kbps（リニアPCM）	380曲	約25時間20分

記録できるビデオファイルの最大時間の目安

本機にビデオのみを転送した場合で計算しています。使用状況によっては増減する可能性があります。

	NW- S636F/S636FK/S736F	NW- S638F/S638FK/S738F	NW- S639F/S739F
ビットレート*1	時間	時間	時間
384 kbps	約15時間00分	約31時間10分	約63時間30分
768 kbps	約8時間30分	約17時間50分	約36時間20分

*1 映像のビットレート。音声のビットレートは128 kbps。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

記録できる最大写真枚数

最大 10,000枚
ファイルサイズによっては記録できる最大写真枚数が少なくなります。

容量(ユーザー使用可能領域)*1

NW-S636F/S636FK/S736F:4 GB(約3.57 GB = 3,840,901,120 バイト)
NW-S638F/S638FK/S738F:8 GB(約7.41 GB = 7,967,047,680バイト)
NW-S639F/S739F:16 GB(約15.1 GB = 16,219,340,800バイト)

*1 本機では、メモリーの一部をデータ管理領域として使用しているため、ユーザー使用可能領域は一般的な容量表示とは異なります。

ヘッドホン出力

周波数特性
20 ～ 20,000 Hz(44.1 kHzサンプリング時、単信号測定)

FMラジオ放送受信周波数

76.0 ～ 90.0 MHz(TV*1 1 ～ 3CH)

*1 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

IF(FM)

128 kHz

アンテナ

ヘッドホンコードアンテナ

インターフェース

ヘッドホン:ステレオミニ
WM-PORT(マルチ接続端子):22ピン
Hi-speed USB(USB 2.0 準拠)

動作温度

5 ～ 35 ℃

電源

- 内蔵リチウムイオン充電式電池使用
- USB電源(付属のUSBケーブルを接続して、パソコンから供給)

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

充電時間

パソコンのUSBコネクタからの充電の場合
約3時間（満充電）、約1.5時間（約80 %まで充電）

電池持続時間

「曲切り換わり時表示」（☞ 53ページ）、「イコライザ」（☞ 46ページ）、「VPT（サラウンド）」（☞ 48ページ）、「DSEE」（高音域補完）（☞ 49ページ）、「クリアステレオ」（☞ 50ページ）、「ダイナミックノーマライザ」（☞ 50ページ）を「オフ」に、「スクリーンセーバー設定」の「種類」（☞ 107ページ）を「画面オフ」に設定しているときの目安です。
また、ビデオは輝度設定（☞ 108ページ）を「3」に設定しているときの目安です。

本機の状態	S636F/S636FK/S638F/S638FK/S639F/S736F/S738F/S739F **ノイズキャンセリング機能なしまたは無効の場合**	NW-S736F/S738F/S739F **ノイズキャンセリング機能を有効にしている場合**
ミュージック		
ATRAC 132 kbps再生時	約37時間	約28時間
ATRAC 128 kbps再生時	約33時間	約26時間
ATRAC 48 kbps再生時	約35時間	約27時間
ATRAC Advanced Lossless 64 kbps再生時	約34時間	約27時間
MP3 128 kbps再生時	約40時間	約30時間
WMA 128 kbps再生時	約40時間	約30時間
AAC 128 kbps再生時	約38時間	約29時間
HE-AAC 48 kbps再生時	約38時間	約29時間
リニアPCM 1,411 kbps再生時	約41時間	約31時間
ビデオ		
MPEG-4 384 kbps再生時	約10時間	約9時間
AVC Baseline 384 kbps再生時	約8.5時間	約7.5時間
WMV 384 kbps再生時	約10時間	約9.5時間
録音		
ATRAC 128 kbpsで録音時	約16時間	約14時間
FM		
FMラジオ放送受信時	約22時間	約18時間

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ディスプレイ
2.0型、TFTカラー液晶、白色LEDバックライト付き、QVGA（320 × 240ドット）、ドットピッチ0.1275 mm、262,144色

外形寸法
約42.9 × 89.5 × 7.5 mm（幅／高さ／奥行き、最大突起部含まず）

最大外形寸法
- NW-S736F/S738F/S739F

約43.4 × 89.7 × 8.1 mm（幅／高さ／奥行き）
- NW-S636F/S636FK/S638F/S638FK/S639F

約43.4 × 89.5 × 8.1 mm（幅／高さ／奥行き）

質量
約46 g（JEITA）*[1]

*[1] 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

付属品*[1]
- ヘッドホン（1）
- イヤーピース（Sサイズ、Lサイズ）（各サイズ2個1組）
- USBケーブル（1）
- アタッチメント（1）
  本機を別売りのクレードルなどに取り付けるときに使います。
- CD-ROM*[2]（1）
  - SonicStageソフトウェア
  - Media Manager for WALKMANソフトウェア
  - WALKMAN Launcherソフトウェア
  - 詳細操作ガイド（PDF）
- 取扱説明書（1）
- 安全のために（1）
- 保証書（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）
- カスタマー登録のお願い（1）

*[1] NW- S636FK/S638FKの付属品については、別紙「デジタルミュージックプレーヤー アクティブスピーカーキット 取扱説明書」もあわせてご覧ください。

*[2] 音楽CDプレーヤーでは再生しないでください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

本機の動作環境（下記環境を満たすすべてのパソコンで動作を保証するものではありません。）

- パソコン
  以下のOSを標準インストールしたIBM PC/AT互換機専用です。
  Microsoft Windows Vista Home Basic またはHome Premium またはBusiness またはUltimate（Service Pack 1以降）/ Windows XP Home Edition または Professional（Service Pack 2以降）（日本語版標準インストールのみ。64ビット版およびマイクロソフト社サポート対象外のOSには非対応。）
- CPU
  Pentium 4 1.0 GHz相当以上
- メモリ
  512 MB以上
- ハードディスクドライブ
  450 MB以上（1.5 GB以上を推奨）の空き容量が必要です。
  Windows のバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。また、音楽やビデオ、写真のデータを扱うための空き容量がさらに必要です。
- ディスプレイの設定
  画面の解像度：800 × 600 ピクセル以上（1,024 × 768 ピクセル以上を推奨）
  画面の色：High Color（16 ビット）以上（256 以下では正しく動作しない場合があります）
- CD-ROM ドライブ
  WDMによるデジタル再生機能に対応しているドライブが必要です。さらに音楽CD/ATRAC CD/MP3 CDの作成を行うためには、CD-R/RW ドライブが必要です。
- サウンドボード
- USBポート（Hi-Speed USB推奨）
- Internet Explorer 6.0または7.0がインストールされている必要があります。
- CDDBやインターネット音楽配信サービス（EMD）を利用する場合や、SonicStageでバックアップしたデータを復元する場合は、インターネットへの接続環境が必要です。

以下のシステム環境での動作保証はいたしません。
– 自作パソコン
– 標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境
– マルチブート環境
– マルチモニタ環境
– Macintosh

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

目次
メニュー
索引

索引

数字・記号

あ行

か行

さ行

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

た行

な行

は行

ま行

次のページにつづく ⇩

や行

ら行

A、B、C、D

E、F、G、H

I、J、K、L

M、N、O、P

Q、R、S、T

U、V、W、X、Y、Z

目次
メニュー
索引

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ ウォークマン カスタマーサポートへ（http://www.sony.co.jp/walkman-support/）**
  デジタルメディアプレーヤーに関する最新サポート情報や、その他よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。
  ※本機へ曲を転送できる機器との接続に関する詳細情報につきましても上記ホームページをご確認ください。

- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ ソニーの相談窓口へ（下記電話・FAX番号）**
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
    - ◆ セット本体に関するご質問時：
      - 型名：本体裏面に記載
      - 製造（シリアル）番号：本体裏面に記載
      - ご相談内容：できるだけ詳しく
      - お買い上げ年月日
    - ◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時：
      質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口	フリーダイヤル……0120-333-020 携帯電話・PHS・一部のIP電話‥0466-31-2511	➡
修理相談窓口	フリーダイヤル……0120-222-330 携帯電話・PHS・一部のIP電話‥0466-31-2531 ※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	➡

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「３０１」＋「＃」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）
0120-333-389
受付時間
月～金：9:00～20:00
土・日・祝日：9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1